



イスタンブル開発機構

イスタンブル 投資ガイド





イスタンブル 投資ガイド

イスタンブル、2016年

目次

6

はじめに

8

イスタンブル
開発
機構



10

商業会議所
工業会議所



14

イスタンブルへ
ようこそ



16

世界へ
開かれたゲー
トウェイ



20

イスタンブル
経済
概観



24

起業と投資



28

イノベーション、
労働力、能力



32

発展する
インフラ



38

ファイナンス



46

イスタンブルの
ライフ



50

ツーリズム



58

カルチャー
資産



62

不動産



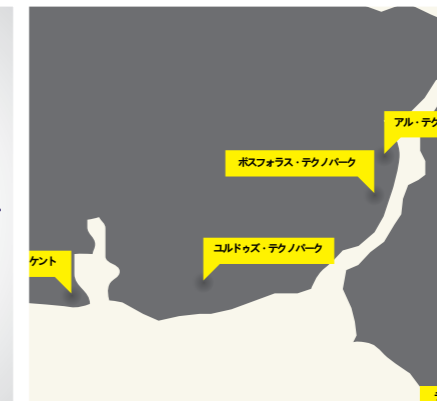
68

突出した
分野



76

アドバンテージ
のある
地域



82

投資
インテンシブ





素晴らしい美しさに満ちた街、誰もが羨む気候と、比類のないライフ・クオリティ。．．．イスタンブル、ヨーロッパで最もダイナミックで多面的な経済。全世界から集まる知識人と有能な人々にとって、魅力的な街。創造的で起業家精神にあふれる人口は、イスタンブルを新しいアイデア、製品、サービスを生み出すイノベーションの中心地としています。イスタンブル開発機構は、豊かな文化、起業家精神のあるエコシステム、幸せな若者たちを有するイスタンブルを、「無二の都市」にすることを目標にサービスを提供しています。このビジョンは、トルコの他の都市だけではなく、世界の様々な地域から、付加価値の高い投資を誘致するのに、完璧な環境を創り出します。イスタンブルが世界的な経済危機にそれほど影響を受けずに、国際的投資家に機会を提供できることを、とても光栄に思います。ここからすべての世界的投資家に向けて、イスタンブルを念頭に入れていただくようご挨拶申し上げます。

ヴァスィップ・シャーヒン
イスタンブル知事
İSTKA 取締役会長



伝統的かつ、新技術を包括するイスタンブルは、グローバル・エコノミーの先駆者であります。ヨーロッパ、アジア、アフリカ大陸の交差点にあるイスタンブルは、急速に経済が成長し、トルコのみならず中進国の経済にとっても、大変重要な位置にあります。多文化構造のイスタンブルは、多国籍企業にとっても理想的なコネクションポイントです。外国人投資家は、イスタンブルの経済発展に貢献し、都市のグローバルなビジネスチャンスとコネクションの可能性を引き上げています。イスタンブルは必然的に、社会、経済、文化的な意味でトルコで最も重要な都市です。経済成長と繁栄、ヨーロッパ、アジア、アフリカへの近さ、質の高い労働力と投資家に有利なエコシステムにより、イスタンブルはグローバルな投資家にとって魅力あふれる拠点となっています。近年の革新的な工業やサービス業界の発展は、グローバル経済の変動に対する我が国の経済強化に貢献しました。こういった状況で、イスタンブル開発機構はイスタンブルを投資家にとって、またとない魅力的な中心地にするため尽力してまいります。

Dr.カディル・トプバシュ
イスタンブル市長 / İSTKA(イスタンブル開発機構) 取締役副会長都市連合・地方行政長官



イスタンブルは、その長い歴史、エネルギー、そしてビジネスチャンスによって、今日急成長している経済のおかげで、将来において最も有望な都市です。地理的に見ても、比類のない人類の遺産です。グローバルトレーディングや文化交流の面でも中心的な都市となっています。戦略地政的に有利な位置、人口、ダイナミックな経済、そしてしっかりしたインフラで、投資家にとって安全な港であるイスタンブルは、疑いなく世界経済の将来に方向を示し続けるでしょう。さあ、イスタンブルの豊富な遺産と一緒に将来へつなげましょう！

イブラヒム・チャーラル
イスタンブル商業会議所、所長
取締役役員



İSTANBUL
SANAYİ ODASI

イスタンブルは何百年も間、世界でも最もインスピレーションを与える都市のうちのひとつでした。歴史的な深みと比類のない文化で、人々を惹きつけています。イスタンブル開発機構は、この美しい都市が様々な分野で提供しているチャンスを紹介する上で、重要な役割を果たしています。工業的發展に関して、正しいデータなど価値ある情報を、本書から得ていただけます。イスタンブルの起業家や産業家は、変化するビジネス環境に足並みを揃える能力を備えています。産業家のダイナミズムは、イスタンブルの力強いネットワーク構築に貢献してくれるでしょう。50か国以上の国に、たった4時間のフライトで到達できるイスタンブルに投資をするのは、グローバルマーケットへ進出するための第一歩です。

エルダル・バフチヴァン
イスタンブル工業会議所、所長
取締役役員



イスタンブルは、その文化、経済、ポテンシャル、歴史的、そして自然のすばらしさ、東と西、伝統とモダンの狭間にあるグローバルな架け橋です。国際的な金融、貿易において、戦略的な重要性を有する比類のない都市です。トルコの対外貿易の半分を担っているイスタンブルは、トルコを外の世界へつなぐ重要なゲートウェイです。また一方では、イスタンブルの高い付加価値のある製品やサービスの生産に適した条件を有していることも、有利な地理的条件を一層強化しています。大変高度な教育を実施している大学、産業地区、イノベーション・プラットフォームを主催していることで、イスタンブルは投資や雇用の面でも世界最高の魅力あふれる都市になっています。2023年の輸出目標に向かって前進している中、投資家のみなさんには、イスタンブルの発展を体験し、ポテンシャルを発見していただきたいと思えます。

メフメット・ビュユックエクシ
トルコ輸出業者議会議長
取締役役員



千年もの間、文明の首都として君臨したイスタンブルは、現在国際貿易の中心地として新たな舞台に登場しています。この街はヨーロッパからアジアへ渡る広大な地域のファイナンスセンターとなっています。我々のイスタンブルは、イスタンブル・ファイナンス・センター・プロジェクトの実現で、2023年に世界の10大金融拠点に仲間入りし、将来の、そしてグローバルな投資家が焦点を絞る都市になるでしょう。ボルサ・イスタンブル(イスタンブル証券取引所)は、新たなサービスと製品で、グローバルな取引所になりつつあります。イスタンブル・ファイナンス・センター・プロジェクトにおいて最も重要な役割を果たすと見られている当証券取引所は、グローバル投資家をこの地域に誘致し続けます。チャンスを逃がしたくないグローバル投資家は、イスタンブルで自分の場所を確保すべきでしょう。

Dr.タラット・ウルスセヴェル
ボルサ・イスタンブル(イスタンブル証券取引所)、所長
取締役役員



イスタンブルは、アクセス便利で中心的な位置、革新的で発展に前向き、オープンな市場構造で、投資家にまたとない機会を提供します。第3空港、第三ボスフォラス大橋、ファイナンス・センターといった、大型プロジェクトは、都市の魅力を高めるとともに、一方でイスタンブルの投資ポテンシャルに限界がないことを証明しています。昨年の680億ドルの輸出額は、トルコ総輸出額のほぼ半分を占めています。これはイスタンブルの投資ポテンシャルと、トレーディング基地としての重要性を示しています。我々もこの意味でグローバルな投資家に、イスタンブルのビジネスチャンスを検討するよう勧め、この目標に向かって活動するイスタンブル開発機構を支援しています。

ナイル・オルパック
独立産業実業家協会、会長
取締役役員



インスピレーションの源であるイスタンブルは、複雑な価値の連鎖を有しています。グローバルとローカルの間の行政、企業、その他の協業が一同に集められた新たなアプローチは、都市にとって大きなチャンスの扉を開いてくれます。イスタンブルは、この都市が提供した機会によって、グローバルレベルでの成功を収めたまれな例です。その一方で、当機構は都市で成長を遂げたダイナミックで力強い社会経済のエコシステム構築のために、継続的に活動しています。当機構は、企業やNPOの新しいアイデア交換を容易にするネットワークづくりや、活発なサービス提供を支援しています。国内外の投資家の皆様を、突出した手段をチャンスに変える都市、イスタンブルへの投資へご招待します。

Assoc.Dr.アブドゥルメジット・カラタシュ
事務局長

イスタンブール開発機構

地域的开发機構は、社会経済にもたらした息吹で、トルコで新しい時代の開拓者になりました。これらの機構は、活動を行っている地域の公的機関、民間企業、NPO、学术界といった、地域の開発の鍵となるプレイヤーを一同に集め、社会経済的發展とトレンドをコーディネートしています。

İSTKA (イスタンブール開発機構) のチームワーク

イスタンブール開発機構は公的機関や民間企業、NPOなどの機関と協力関係を発展させ、ソースの適材適所利用、ローカルなポテンシャルを発動させることで、国家の開発計画とプログラムに掲げられているスローガンと方針に合わせた、地域的な發展の急速化、持続可能性の保証、地域間、地域内の格差是正のため、2008年に内閣の決定で開設されました。質の高い有能な人材を有する当機構は、地域計画、投資家へ提供する技術的、財務的支援、投資支援、広報サービスといった、三つの基本的活動を推進しています。

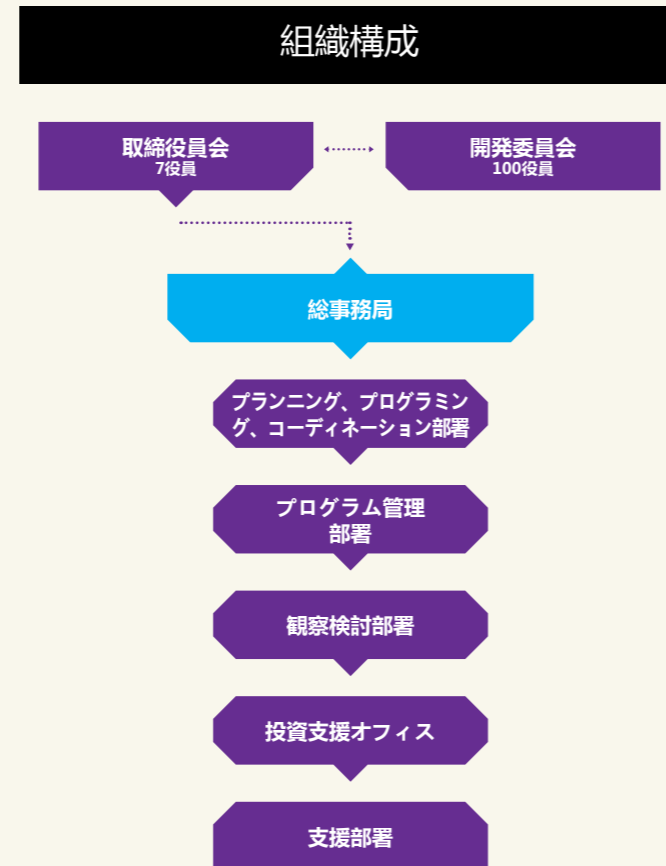
当機構の活動

イスタンブール地域プラン

財務、技術支援

投資支援の紹介

当機構は、実行機関である総事務局役員会の決定を遂行するために、主に5つの業務部署から成っています。



投資支援オフィス

イスタンブールのビジネスパートナー

イスタンブール開発機構には、投資支援オフィスを含めた5つの業務部署があります。投資支援オフィスは、イスタンブールで投資をしたい国内外の投資家への支援サービス業務を行っています。この業務範囲において、投資機会と都市の可能性についての情報を提供しています。投資支援オフィスは、成功例をシェアし、協力ネットワークを構築するため、様々な分野の多くの起業例を一堂に集めています。

これらに加え、投資支援オフィスは、投資家が公的機関から取得しなければならない許可や認可証の手続き、その他の行政手続きを、ワンストップサービスで追跡、コーディネートしています。また、投資状況を監視し、投資家へ情報を提供し、方向性を示し、協力ネットワークを構築する活動を推進しています。

詳細はこちらをご参照ください。 www.istka.org.tr

投資支援オフィスの業務

投資支援業務

投資紹介業務

戦略、分析出版物

投資インセンティブ

協力

イスタンブール商業会議所



İSTANBUL
TİCARET
ODASI
—1882—

イスタンブール商業会議所 (ITO)は、会員が国際取引でより一層のシェアを獲得し、グローバル・エコノミーの形成において自身で方向を選択でき、国が地域的な力になるために貢献するというビジョンを持って活動している機関です。

ITOは、民間企業の構造上の、また最新の問題を解決し、トルコの国際競争力の強化、国の経済に安全で独立した成長環境を保証することが非常に重要であると信じ、経済的及び商業生活の多面的な成長を支援するミッションで活動を推進しています。

トルコの将来へ献身する機関としてITOは、このミッションから得た力で、商業、零細企業、サービス分野の急速な発展と拡大を奨励しており、国外で新たな市場を開拓するために尽力し、展示会を開催しています。ビジネス界の成長を妨げる障害を明確にし、それらを取り除くための活動をしています。

ITO設立の目的にもあるように、労働倫理や相互互助の精神を守りながら、国の発展と公的、あるいは民間のあらゆる職業的、科学的、社会的、文化的機関と協力体制をとっています。

ITOが1882年以降会員と一丸となって、変わる事のない感動と熱意を持って突き進んでいる奉仕の旅は、同時にトルコ全土での成長と啓蒙を目標とする、経済や商業生活の青写真でもあります。

ITOは、トルコの経済パノラマにおいて、常に中心にいました。38万を超える会員数を誇るITOは、モットーとしている「会員に焦点を絞った」サービスで、トルコのみならず、その地域から全世界へ広がる商業学校のような存在になっています。

ヨーロッパ最大、世界第5位の会議所であるイスタンブール商業会議所は、500以上のプロフェッショナルな組織で、

- 一日平均13,500人の利用者へサービスを提供し、
- 年間25万件の登録手続きを行い、
- 年間2百万以上の書類を取扱い、
- 年間百万近くの活動証明書を発行し、
- 年間平均2000件の商業ビザ取得手続きを行い、
- 年間何百人もの学生に実習の機会を与え、
- 年間100以上のビジネスミッションを受け入れ、
- 年間25以上の外国での見本市や展示会を組織し、
- 経済、金融、税、投資インテンシヴ、知的財産権や価格設定といった事柄について、会員へサービスを提供し、
- トルコ初の調停機関を設置したITOは、イスタンブールを国際的調停センターにすべく行われている業務を継続し、
- インターネット・ポータルで、ビジネス界の経済、社会分野におけるあらゆる情報へのアクセスを可能にし、
- 平均60件の調査や印刷物を作成し、
- 消費者の権利保護に関する活動を行い、
- 年間50回ほどのパネル、セミナー、カンフェランス、ブリーフィングを開催しています。

イスタンブール商業会議所;
ヨーロッパ最大の商業会議所

ITOの参入

イスタンブール・ワールド・トレード・センター株式会社

テクノパーク・イスタンブール株式会社

イスタンブール商業大学

ジェミレ・スルタンの森

イスタンブール・ショッピング・フェスト

イスタンブール工業会議所



ミッション

・国内及び国際的基準に準じるため、国内外のパートナーと協力関係を築き、情報を生産し、方針及びシステムを形成すること。

・工業に携わる企業の価値を高める革新的なサービスを提供し、分野の持続的発展を支援すること。

・工業家イメージ広報の他、規則編成及び適用において、政界への助力として工業的インフラ及びエコシステムの指導に貢献すること。

ビジョン

我々は工業環境を形成し、グローバルな尺度でトルコの産業の成長を促進する有能なパートナーとなることを目標にしています。我々の目的は、トルコ企業が持続可能な競争力と能力を発展させることです。

ISOの会員が創出した付加価値は、トルコ工業の合計付加価値の約36%を占めています。

トルコの工業生産の約34%は、ISOの会員によるものです。

ISOに登録されている企業の従業員は、トルコ工業における雇用合計の15%を占めています。

活動分野

投資、インテンシヴ証明書

開発プランにおいて掲げられた目標に向かって、付加価値の高い投資を実現させ、生産と雇用を拡大し、高度な研究開発内容を有する地域的大規模投資を奨励するため、様々な投資インテンシヴが設けられています。当会議所は関連インテンシヴ法規に示されている方針に基づき、最大1000万トルコリラの固定投資額である、イスタンブールで行われる製造業の投資のために、インテンシヴ証明書を作成しています。

工業コンGRESS

2002年より、イスタンブール工業会議所工業コンGRESSを開催しています。工業コンGRESSは、参加者へ豊富な内容と独創性に富んだ討論環境で、グローバルな競争条件とグローバル化をもたらす機会に対して、工業家が時代に足並みを揃えられるよう貢献することを目的に開催されています。

イノベーション

イスタンブール工業会議所は、確かな技術基盤で、高度の付加価値生産を支援しており、独自技術を生産できる企業を創造するために尽力しています。当会議所は、イノベーションに焦点を絞り、持続可能な競争力をアドバンテージにすることに成功した工業家を表彰しています。

大学 - 産業の協業

イスタンブール工業会議所の優先事項のうちのひとつが、大学と工業の間に活動的で質の高い、現実的かつ効率的な協業関係を築くことです。限られたソースを実用的に利用するのに役立つ、力強いプレーヤーとして行動しています。



国際技術協力

イスタンブール工業会議所は、企業の国際的技術開発協業への参加を支援する、Enterprise Europe Network プロジェクトを推進しています。当会議所は、技術、技術開発、イノベーション、知的財産権、プロジェクトマネジメントについてのセミナーや出版も行っています。

環境とエネルギー

イスタンブール工業会議所は、1990年より会員の環境への取り組みを支援しています。当会議所は、教育、コンサルティング、環境プロジェクト、廃棄物管理、鉱業、非衛生業種ライセンス、二酸化炭素排出量、職業保健と安全、植樹、といった事柄に関する活動を行っています。

エネルギー分野での業務は、工業上のエネルギー効率、ローカルな再生利用エネルギー源、エネルギー機器の現地生産、エネルギーファイナンスの利用、各種資源からのエネルギー現地生産、ISO50001エネルギー管理システムの構築と原子力エネルギー産業に集中しています。

トルコの合計輸出の約36%は、ISOの会員によるものです。

ISOの会員は、トルコのトップ500企業の約40%を占めています。

対外貿易

イスタンブール工業会議所は、会員が国際市場で競争力をつけ、潜在的なビジネスチャンスをつかむため、対外貿易情報のシェア、教育、コンサルティング活動を推進しています。当会議所は、2008年からヨーロッパ企業ネットワークのイスタンブール連絡事務所としてもサービスを提供しています。ヨーロッパ企業ネットワークは、会員が新たなクライアントやパートナー獲得に貢献するため、対外貿易業務を行っています。

調査と刊行物

イスタンブール工業会議所は、会員が毎年楽しみにしている、実業界と経済界の専門家による前半期、後半期のトップ500企業を発表しています。当会議所は製造業、工業界を先導する業界レポートを作成しています。月刊誌である「工業」誌は、工業家や世論へ情報を発信し、工業家の抱える問題に対応し、会員がお互いに連絡を取り合う機会を提供するプラットフォームになっています。

イスタンブールへようこそ

イスタンブールは、1440万人の人口を有し、トルコ最大の都市です。ヨーロッパとアジアが交わる地点にあるイスタンブールは、約5,343km²の面積を有し、トルコ経済においても最大の県であり、世界へ開かれたゲートウェイです。

これまでに知られているイスタンブール最古の定住は、新石器時代（紀元前8000年）にまで遡り、数多くの文明のゆりかごとなってきました。突出した歴史を持つイスタンブールは、何百年もの間国際貿易の交流地点でありました。そのため、この都市はグローバルマーケットに固く連結し、経済的な抵抗力を身に着けました。

今がイスタンブール進出のタイミングです

この都市で活動する22,000という国際企業の数を見ても、イスタンブールがどれほどコスモポリタンな都市であるかを示しています。独立した、競争力のある、投資家にやさしい環境で、イスタンブールは実業界にとって魅力的な中心地です。

管理体制

トルコ共和国は議会制民主主義で管理されている国です。国土は7地域、81県に分けられています。39の区で構成されている広域市であるイスタンブールは、トルコの全人口の5分の1を有し、GNPの3分の1を生み出しています。イスタンブールの姉妹都市は、ヨーロッパに11、アジアに19、アフリカに4、アメリカに4都市と、合計48都市に上っています。また、20都市と2都市間協定を、17都市とはMOUを締結しています。最も重要な国際都市に数えられるイスタンブールは、ビジネスリーダー、投資家、そして成功を求める有能な人々にとって、ふたつとない魅惑の都市です。

概要



人口
1440万人



面積
5,343 km²



平均気温
15.1°C



歳入
3,490億\$



一人当たりの収入
25,000ドル



空港
アタテュルク空港
サービハ・ギョクチェン空港



世界へ開かれたゲートウェイ

インテグレーション、ヴァリエーション、アクセス

安定した安全な地域

経済、取引量、2社間の関係の他、イスタンブルを国際的拠点にしている基本的要素は、過去に築かれた豊かな文明です。グローバルなインテグレーションと、拡大する交流ネットワークは、イスタンブルの国際性と自然の宝庫に付加価値をつけ、世界へ近づくために大きく貢献しています。

トルコの輝く星

ベスト・エアポート

世界で最も素晴らしい空港という名声を得ているアタテュルク空港とサービハ・ギョクチェン空港は、トルコだけではなく、バルカン、コーカサス、中東諸国へ難なくアクセスできるポイントです。70の航空会社が運航しているこのふたつの空港は、年間8000万人の旅客を、国内外へ運んでいます。

目がくらむほどの成長率と、109か国265ディスティネーションへ運行している、世界第4位のフライトネットワークを誇るトルコ航空は、世界のリーダー航空会社の仲間入りをしており、拡大するサービスにまた新たなディスティネーションを加えながら、成長し続けています。航空会社品質評価分類及び航空業品質優秀基準において名声を得た、世界的に知られているSkytraxによって、トルコ航空は5年間続けて旅客からヨーロッパのベスト・エアーに選ばれ、2015年には世界航空会社賞を獲得しました。

グローバル・シティ、イスタンブル

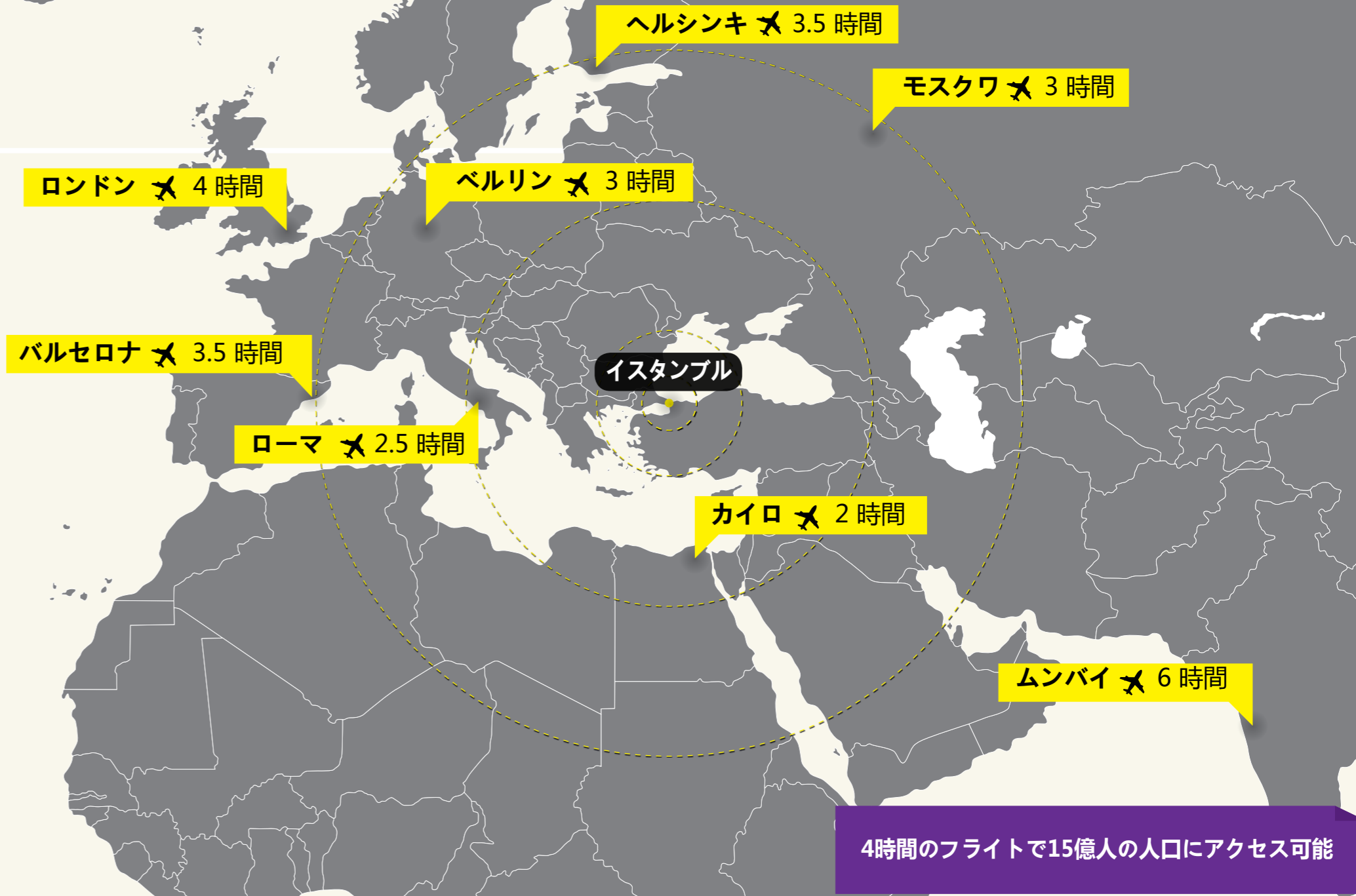
Brooking研究所が発行している、グローバル・シティの10の基本的性質に関するレポートにも示されている通り、ほとんどの都市が抱えている問題として、世界へ進出する際に直面するグローバルな次元を含む基本的均衡の保持が挙げられます。

こういった意味で受け入れられた戦略的で基本的なアプローチも、各地域の経済的、政治的、地理的要素により変わってきます。それと同時に、すべてのメトロポリタン都市がグローバルな移行性を備える際に、踏み出さなければならない最初の一步はみな同じです。グローバルな位置を確保するのに助けとなる長所と弱点を、慎重に評価することです。

イスタンブルのような成長過程にある経済は、国際交流の面で中心的で接点となり、各国、各地域にとって重要な仲介役の役割を果たしています。PwCが作成した、ビジネスチャンスがある都市レポートでは、イスタンブルは世界有数のダイナミックな都市として紹介されています。

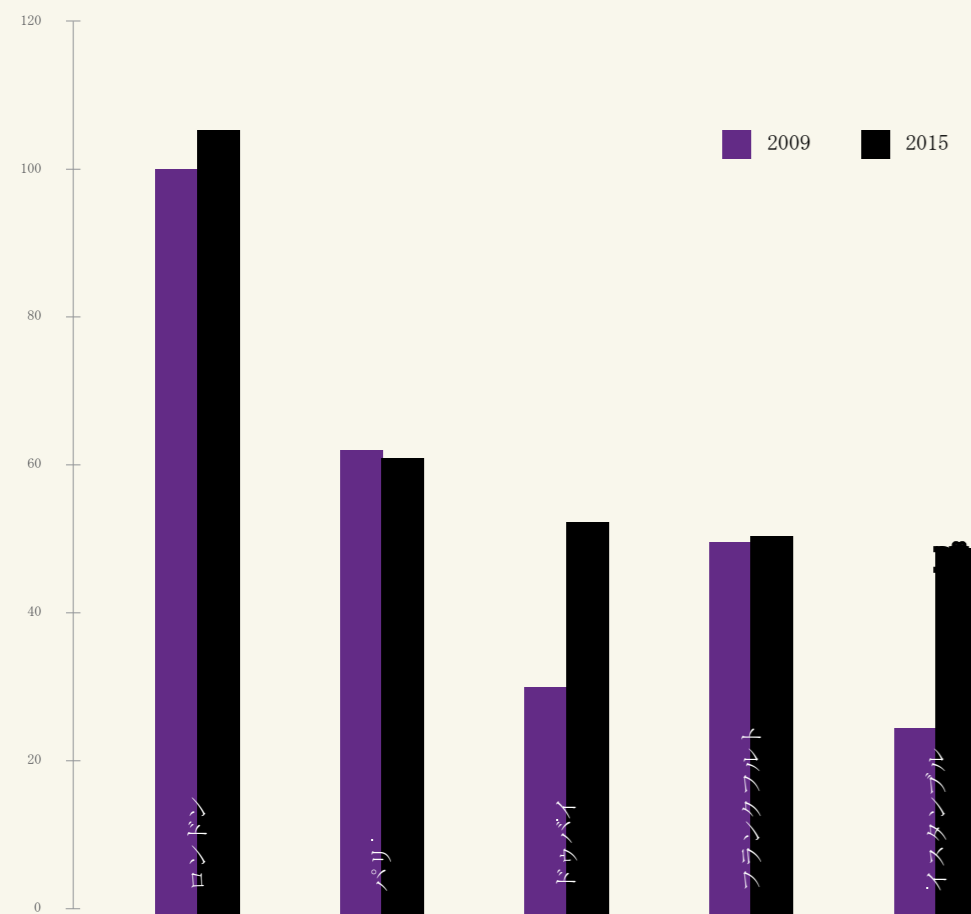
世界で最多国へ飛ぶ1.航空会社T H Y

トルコ航空
Skytrax顧客満足度賞の中で、2015年にヨーロッパ最優秀航空会社に選ばれました。



世界へ開かれたゲートウェイ

国際連絡最多地点上位5位 (ロンドン2009 - 100)



出典: マスターカード 2015

世界で重要度第5位の中心地：イスタンブール

より多くの来訪者を誘致しようとする都市に必要な、最も重要な条件のうちのひとつとして、世界の他の都市への連絡フライトと空港キャパシティの増強が挙げられます。マスターカードは、国際間ダイレクトフライトの頻度に基づいて、「世界の最重要フライトセンター指標」を示し、各都市の他都市との連絡率を計っています。

この指標によると、イスタンブールは国際間の連絡がもっとも頻繁な第5位の都市です。



イスタンブール：経済概観

高度な成長パフォーマンス

イスタンブールは力強い経済パフォーマンスとポジティブな経済の現状を示しています。この年は国際間の連絡とダイナミックな構造で、経済成長のエンジンとなっており、国際的ブランド価値を有することで、グローバルなポジションとその名声を高めています。KPMGが発行している、グローバル外国投資評価レポートでは、魅力的な外国投資の面で、イスタンブールは2015年には最優秀ヨーロッパ都市のひとつと評価されました。

Knight Frankの2015年資産レポートでは、最低3千万ドルの資産を所有する高所得者グループの個人数が1,153人であるイスタンブールは、世界ランキングでは29位となっています。さらには、中東で起こったアラブの春以降、トルコはこの地域における外国投資の中でも、安全な港であることが強調されました。この状態は、我が国の高度経済成長パフォーマンスにも反映し、イスタンブールが様々な国際レポートで上位を占める結果をもたらしました。

サクセスモデル

トルコ経済は近年抜本的な変化を遂げました。経済構造問題の解決に対処する政策のおかげで、イスタンブールとトルコはグローバル経済危機の影響を最小限に食い止めました。

巨大なインフラ投資や高度経済パフォーマンスで、イスタンブールはトルコの原動力となっています。2014年に3490億ドルであったこの都市の収益は、トルコ経済の40%を占めています。イスタンブールが一都市で得た収益は、ルーマニア、ハンガリー、クロアチア、ルクセンブルグといった、ヨーロッパの25か国の収益を抜いています。

トルコ経済は他に例を觀ない成長速度を示しており、その中でイスタンブールは成長の原動力となりました。2万5千ドルの一人当たりの年間収入も、トルコの平均をかなり上回っています。2001年に比べると、一人当たりの収入は5倍になりました。約7万の国際企業が活動しているイスタンブールでは、対外貿易量は約2180億ドルに達しました。



ヨーロッパの投資家にやさしい都市第7位
(fDi Magazine - 2014)

3490億ドルのG N P - 2014年
(Brookings Institution)

2万5千ドルの一人当たりの収入 - 2014年
(Brookings Institution)

約130か国の経済を凌ぐ経済量

2180億ドルの対外貿易量 - 2014年
(経済省)

対外貿易を行っている7万の企業 - 2014年
(経済省)

イスタンブール：経済概観

高い購買力 物価高では第99位
(Mercer - 2015)

発展する力強い経済

2000年代末に起こったグローバル金融危機は全世界に影響を与え、世界経済成長がマイナスになったこの時期を、ほとんどのエコノミストが「大停滞期」と名づけました。国際通貨基金が行った調査によると、1993-2007年の間年間平均3.2%の割合で成長した世界経済は、2008-2009年の間は2%縮小してしまいました。2013年にロンドンで開催された「グローバルシティ・イニシアチブ・カンフェランス」では、最近5年間で10%の雇用と付加価値の向上が見られたイスタンブールが、2007年以降ヨーロッパで最もダイナミックな都市であることが強調されました。LSE・ヨーロッパアン・メトロモニターの調査では、2014年内にイスタンブールで2.5%のグロス付加価値、6.6%の雇用増加が見られました。

物価高がない都市イスタンブール

都市の生活水準は、投資や投資家の誘致に重要な影響を及ぼします。生活水準を高めることに成功した都市は、競争力という利点を獲得できます。

Mercer社の物価調査は、世界最大規模の調査です。5大陸を含む購買力の変化を測定するこの調査では、住宅、交通、食品、レクリエーション、家庭用品などを含めた200以上の要素が評価されています。この調査によると、低コストの生活でイスタンブールは物価の面で第99位となっています。

都市別物価順位

	都市	国
1	ルアンダ	アンゴラ
2	香港	香港
3	チューリッヒ	スイス
4	シンガポール	シンガポール
5	ジュネーヴ	スイス
12	ロンドン	イギリス
16	ニューヨーク	アメリカ
50	モスクワ	ロシア
69	アムステルダム	オランダ
99	イスタンブール	トルコ

出典: Mercer, 2015



起業と投資

可能性あふれる都市

最近12年間でイスタンブルの経済は急速に構造が変化しました。目標高く掲げられたトルコのビジョンを強化する、多面的な国際ネットワークのおかげで、イスタンブル経済はモダンな都市経済へと進化しました。知識に基づいた高い付加価値を産出する分野の統合をも含めた、数多くの革新的な分野のおかげで、都市経済はかなりのヴァリエーションを有するようになりました。

高度技術工業の発達は、多くの国際企業の本社をイスタンブル誘致へ導きました。

効率から革新性に焦点を絞った経済への移行を目標としたトルコにとって、起業活動は非常に重要なものです。イスタンブルが起業家にとって魅力的なチャンスを提供していることは疑いようがないことです。

イスタンブルは、ヨーロッパ、中東、ロシア、アジアの市場の中で、戦略的な位置を占めています。若く、学歴のある、リスクを負うことと厭わない労働力のおかげで、都市には多くのベンチャー・エコシステムが存在します。

ベンチャー・エコシステムは、エンジェル投資家ネットワークや政府が支援しています。国会で決められた最新の法整備とともに、エンジェル投資家と起業の前に立ちはだかる障害が取り除かれました。

商業会議所登録企業数367.722 社
(イスタンブル商業会議所 - 2015年5月)

新設企業数 49.945 社
(トルコ会議所証券取引所連合 - 2014年)

30.180社でリーダーとなっている不動産業
(イスタンブル商業会議所 - 2015年5月)

外国との合併企業数24.612 社 (トルコの59%)
(経済省 - 2015年1月)

インセンティブによって37億ドルの投資が実現しました。

イスタンブルで521件の投資インセンティブ証明書作成されました。

インセンティブ利用の投資で、2万1200人が追加雇用されました。

出典：経済省 - 2014年

国際企業の39%が、卸売、小売業で活動。
(経済省 - 2015年1月)

企業税率20%

所得税率15% - 35%

起業と投資

起業家の首都、イスタンブル

トルコ市場の急速な成長は、多くの経営者を魅了しています。我々は多くの手段の数を提供し、イスタンブルは国家経済のリーダーになっています。ヨーロッパがグローバル危機を脱しようとしているとき、イスタンブルは直接外国人投資幅を拡大しています。

1980年代以降、イスタンブル経済はグローバルな発展に足並みを揃え、重要な投資ロケーションとして競争力を保護する目的で、低コストに頼った価格競争から、情報ベースの工業と高い付加価値を有するサービス重点を置いた経済へ転換し始めました。

大きな目標

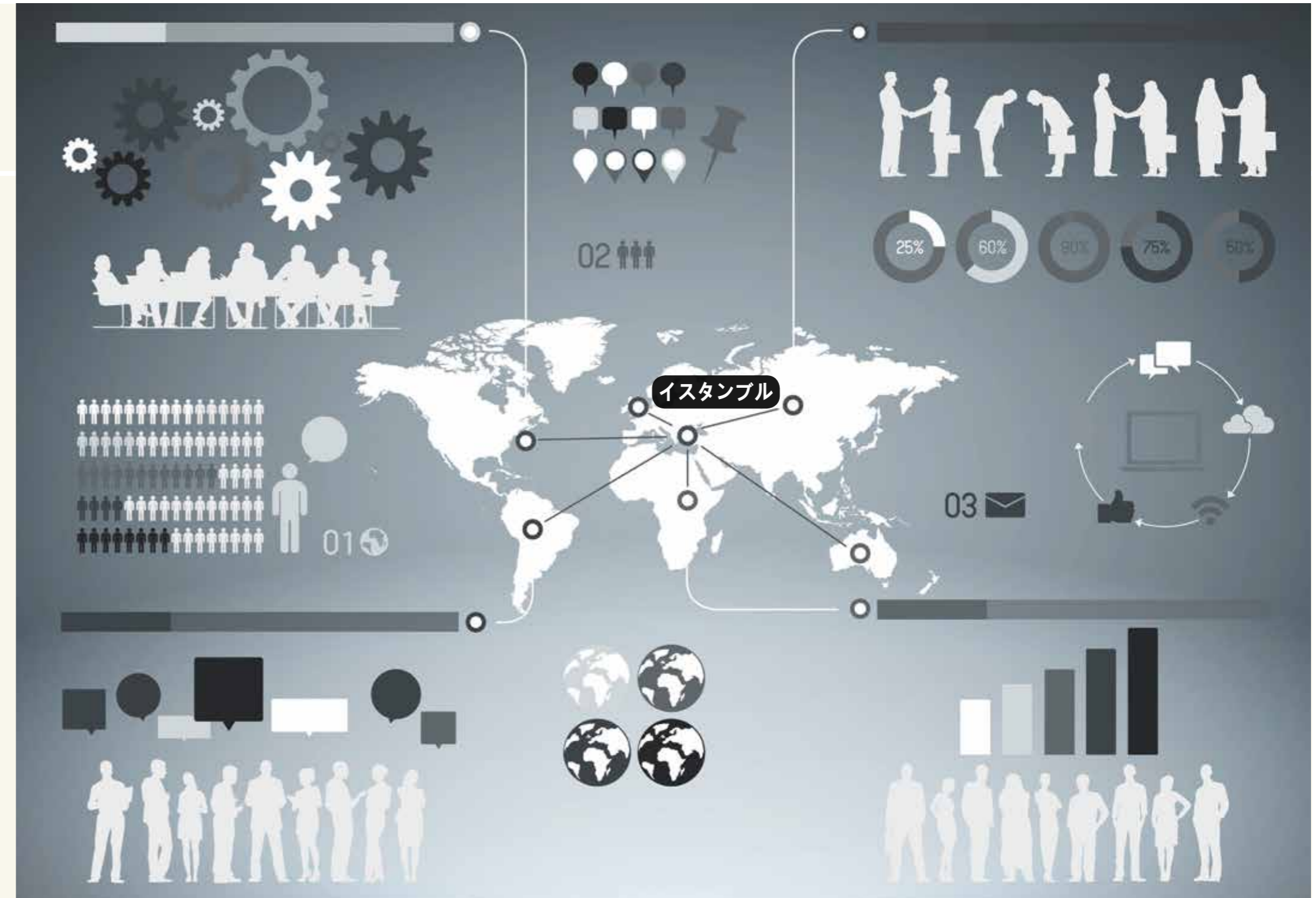
2015 A.T.Kearney外国人投資安全指数によると、大きな国内市場を有するトルコは、中東やヨーロッパへ提供しているビジネスチャンスの面で、第22位となっています。2023年には世界経済のベスト10入りを果たすという目標に向かって、成長と投資プランが立てられ、8つのキー・セクターが私営化が行われ、インフラ投資計画が準備されました。

この目標に到達するために、国に直接外国投資を誘致する経済改革が続けられています。また、クレジット評価機関Fitchは、減少する負債ストック、安全な銀行システム、ダイナミックな民間セクター、そしてポジティブな中期成長予想などの理由で、2012年にトルコのクレジット・ノートは「投資可能」レベルに引き上げられました。

投資家の投資環境を改善する法の整備や知的財産権の保護に関するポジティブなアプローチも考慮されています。この範囲で我が国への外国投資の流れは増加しながら継続するでしょう。イスタンブルのビジネス環境や投資の機会について、より多くの情報を得ようとする投資家の皆様を、投資支援オフィスにお待ちしております。

イスタンブルで投資をする10の理由

- トルコ最大で最も豊かで生産的な経済
- 雇用でリーダー
- 急速に成長する国内市場
- 力強く革新的な民間分野
- 地域のメインプレーヤー
- 安全、自由、豊富なビジネスチャンスで、広い投資環境
- 質が高く安価な労働力
- 制度的経済とEUとの関税同盟
- 発達したインフラ
- 競争力のある税制



革新性、労働力とスキル

マニラ、イスタンブル急成長中の素晴らしい労働力

イスタンブルは、ビジネスターゲットを容易に達成できる都市です。この目標に到達するための基本的必要事項は、有能、経験豊富で、コストパフォーマンスがよい、力強くダイナミックな労働力です。ヨーロッパで最も若い人口を有するイスタンブルの平均年齢は30歳で、就労率は71%です。1440万人の人口（2014国勢調査）を有するイスタンブルは、十分な人数の質の高い人材、柔軟で競争力のある品質の高い労働力、そしてパワフルで大きな労働力市場を有しています。

グローバル危機後、2009年に16.8%であった失業率は、安定して減少し、2014年には11.9%にまで下がっています。

800万人の労働力
(トルコ統計局 - 2014年)

労働力の64%がサービス業に従事
(トルコ統計局 - 2014年)

783の職業、技術教育学校
(教育省 - 2015年)

イスタンブルの文化遺産イノベーション

イスタンブルの質の高い企業は、文化的なヴァリエーションと誰もが羨むライフオリイのおかげで、この都市は国際的に認められる人材の中心地になりました。イスタンブルには53の大学、66,3万人の学生がおり、この数字は大学数では我が国の大学の数の3分の1、学生数では10分の1にあたります。アカデミックなプロジェクトに対する投資は、知的財産の面での成功をもたらしました。急成長し、差別化が図られた経済で、イスタンブルはグローバル・ブランドとなりました。

イスタンブルでのイノベーションは、卓越した存在になる以上の文化遺産です。イスタンブルはいつも想像を超え、哲学者たちにインスピレーションを与えてきました。2002年以降現在までの特許申請数は、860%増となっています。必然的にイスタンブルは、トルコの技術の中心地であり、特許、実用新案、商標、工業デザインの申請数でも、トルコでトップの都市です。トルコ全国の知的財産申請の半数は、イスタンブルで出されています。

トルコの技術の中心地
知的財産で第1位(トルコ特許局 - 2014年)

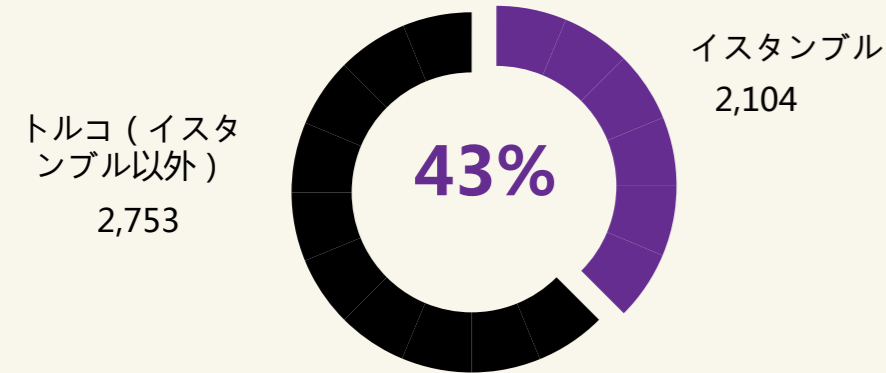


革新性、労働力と能力

完璧なアカデミー部門

教育機関は、国際ネットワークと多彩な文化を支援する構造で、イスタンプルの多面性に貢献しています。このネットワークは、ローカル企業の外国語を習得した、世界に開けた労働力、様々な経営方法、国際的人材、潜在的ビジネスパートナーへアクセスする助けとなっています。労働人口は、有能で複数のマルチリンガルな人材から成っています。グローバル金融危機の直後でも、高い経済パフォーマンスで国際的移民を誘致し続けているこの都市に、労働人口も拡大を続け、多様化しました。このようによく教育された、質が高く創造的な労働人口を有する都市は、投資家にまたとないチャンスを約束します。仕事のプロフェッショナルにとって、洗練された大学や、素晴らしいライフクオリティが、この都市を引力の中心地になっています。

特許申請



出典:トルコ特許局-2013年

人口: 1440万人
(トルコ統計局 - 2014年)

平均年齢: 30歳
ヨーロッパ最年少の都市のうちのひとつ

71%の労働参加率

53の大学
(高等教育委員会 - 2015年)

起業家精神に富んだ、革新的な大学インデックス
イスタンプルの14大学がトップ50入り
(トルコ科学技術研究機関 - 2014年)

高等教育に66万3千人の学生
(高等教育委員会 - 2015年)

2万8千の教授
(高等教育委員会 - 2015年)



発展するインフラ・メガ・プロジェクト

インフラの躍進

都市はその文明を代表しています。それはインフラや都市生活が切っても切れない関係にあることを示しており、生活の質を向上させ、裕福さを社会的な豊かさに反映させます。PWCのビジネスチャンスがある都市レポートでは、イスタンブールは最もダイナミックな都市のひとつに数えられており、現在インフラ投資、病院、住宅地区、空港といった需要に触れています。成長、拡大中の経済で注目されているイスタンブール、上海、北京、サン・パウロといった都市では、インフラ需要が拡大しながら継続するとみられています。

最近10年間で不動産業界の成長においては、イスタンブールとその周辺地域のメガ・プロジェクトもプラス要因になりました。イスタンブールの海峡を横断する海底トンネル、マルマライ・プロジェクトは、昨年運行を開始しました。イスタンブール・アンカラ間高速鉄道プロジェクトも完了したばかりです。現在進行中のメガ・プロジェクトは、以下の通りです。イスタンブール・アンカラ間高速鉄道プロジェクトも完了したばかりです。現在進行中のメガ・プロジェクトは、以下の通りです。

ユーラシア横断道

アジアとヨーロッパが初めて海底で結ばれます。

2011年に着工したユーラシア・トンネル・プロジェクト（イスタンブール、ボスフォラス海峡道路通行プロジェクト）、海底下を通る自動車通行トンネルで、アジアとヨーロッパを接続します。約15億ドルの費用をかけて建設されるこのトンネルは、イスタンブールの車両交通が最も多い、14,6kmの長さのカズルチェシメ・ギョズテペ間で運行します。

トンネルと同時に道路の改良、拡張工事が行われ、全体的な渋滞緩和が図られます。プロジェクトの完成で、100分かかっていた走行時間が15分に短縮される見込みです。これ以外に、安全で快適な走行を提供するユーラシア横断道路は、都市の環境や騒音汚染の削減に一役買うでしょう。

新イスタンブール空港

6本の滑走路、16本の待機路、鉄道へ接続された4つのターミナル、全ターミナルで181の旅客ブリッジ、271の駐機キャパシティー650万㎡のエプロン、3つの点検場、8つの航空交通管制塔、約7万車が駐車可能な駐車場、診療所、ホテル、会議場、再生・廃棄施設から構成される新イスタンブール空港は、7659ヘクタールの敷地に、イスタンブールの北西部に建設中です。プロジェクトが完了すれば、1億5千万人の旅客キャパシティーを有する、世界最大の空港となります。10万人の雇用が期待されるこのプロジェクトは、2018年に完了予定です。

新イスタンブール空港：
「年間1億5千万人の旅客キャパシティー」
世界最大の空港



発展するインフラ メガ・プロジェクト

カナル・イスタンブル

人口の水路でヨーロッパ側を分割し、ヨーロッパとアジアの間に島をつくるプロジェクトは、トルコ史上最大のメガ・プロジェクトのひとつです。深さ25m、幅150m、全長50Kmの水路は、黒海をマルマラ海につなげます。このプロジェクトで、ボスフォラス海峡のタンカー交通の渋滞が緩和され、毎日海峡を通過する危険物貨物タンカーのリスクが解消されます。



ヤヴズ・スルタン・セリム大橋

ヤヴズ・スルタン・セリム大橋は、イスタンブルの2本の橋の北側に架けられる吊り橋です。この橋は、ヘンデッキとスィリヴリを北側からつなぐ、260kmの長さの「北マルマラ自動車道」の一部となります。建設には250億ドルの費用が見積もられているヤヴズ・スルタン・セリム大橋が2015年に完成すると、世界最長の自動車道・鉄道混合橋、世界第9位の長さを有する吊り橋となります。



発展するインフラ・メガ・プロジェクト

ガラタポート

ツーリズムへの投資として計画されているガラタポート・プロジェクトによって、カラキョイ港のプレゼージは高まり、イスタンプルの潜在性は強化され、船舶にとってイスタンプルは重要な停泊地になるでしょう。歴史的な観光地へのアクセス確保以外に、周辺環境の修復も含んだ目標達成が期待されています。ガラタポート・プロジェクトは、クルーズ船港、道路、レクリエーション・エリア、文化施設からなる112.147㎡の土地に建設されます。プロジェクトの費用は約10億ドルと見られています。



イスタンプル・ボスフォラス・トンネル・プロジェクト

環境にやさしいメガ・プロジェクト

イスタンプルのボスフォラス海峡の海底下を通る3層の海底トンネル・プロジェクトが、つい最近イスタンプル特別市に承認されました。

都市の二つの岸を、ボスフォラス海峡の海底を通る鉄道と、2本の自動車道でつなぎ、走行時間を14分に短縮するプロジェクトは、35億ドルの費用で実現すると予想されています。トンネルが完成すると、ボスフォラス海峡は第二、第三大橋と接続されます。

環境にやさしいこのプロジェクトの実現で、年間燃料消費は5400万リットル、二酸化炭素排出量は170トン削減されると計算されています。また、このプロジェクトは、都市のシルエットに何の害も及ぼしません。



メガ・プロジェクト

✈️ 新イスタンプル空港

🌉 ヤヴズ・スルタン・セリム大橋

🚇 イスタンプル・ボスフォラス・トンネル・プロジェクト

⚓ ガラタポート

🚆 ユーラシア・トンネル

ファイナンス

2014年トルコ・ビジネスライフ・レポートでも強調されている通り、過去10年間にトルコ経済で起こった大きな変化の結果、得られた経済の安定と信頼環境において、金利が引き下げられたことにも関係しますが、国内外の投資家をこの地域に誘致するサービスの提供と、ヴァリエーションの更なるレベルアップが図られました。

金融業界は、イスタンブルに8万3千人以上を雇用しています。この労働力は高度教育を受け、質が高いこと、イスタンブルの生活水準が高いことも手伝って、離職率は比較的低くなっています。パワフルな経済と適切な税制が、イスタンブルの金融業界を競争力の高いものにしていきます。また、銀行、保険、年金ファンド、国際金融手続や起業資本投資の面でも、かなりの競争力を有しています。

力強い金融基盤

ヨーロッパで起こった危機に対して、トルコの銀行システムは強固な基盤のおかげで害を受けずに切り抜けました。銀行業務整備監査委員会の対策が功を奏し、トルコの銀行システムは多くのヨーロッパ諸国の手本となりました。先進国経済はグローバル金融危機で重大な損害を被りましたが、トルコの金融業界の頑丈な様子は、評価機関、EU、IMFなど、世界的に有名な機関によっても認められました。このため、銀行業界に対する救助策も必要ありませんでした。また、銀行システムは、強固な資本と流動性の保護に成功しました。

資金貯蓄や活発な流通を促進した金融業界は、グローバル市場に統合されたサブセクターを内包しており、高い付加価値を有する製品とサービスで、将来も経済の推進力となり続けるでしょう。

国内外で活動する45の銀行
(トルコ銀行連合 - 2014年)

3,138の銀行支店
(トルコ銀行連合 - 2014年)

銀行業界には83,636人が従事
(トルコ銀行連合 - 2014年)

インターネットバンキング利用者は410万人
(トルコ銀行連合 - 2014年3月)

クレジットカード発行数 3140万
(銀行業整備監査委員会 - 2014年)



ファイナンス

ボルサ・イスタンブル

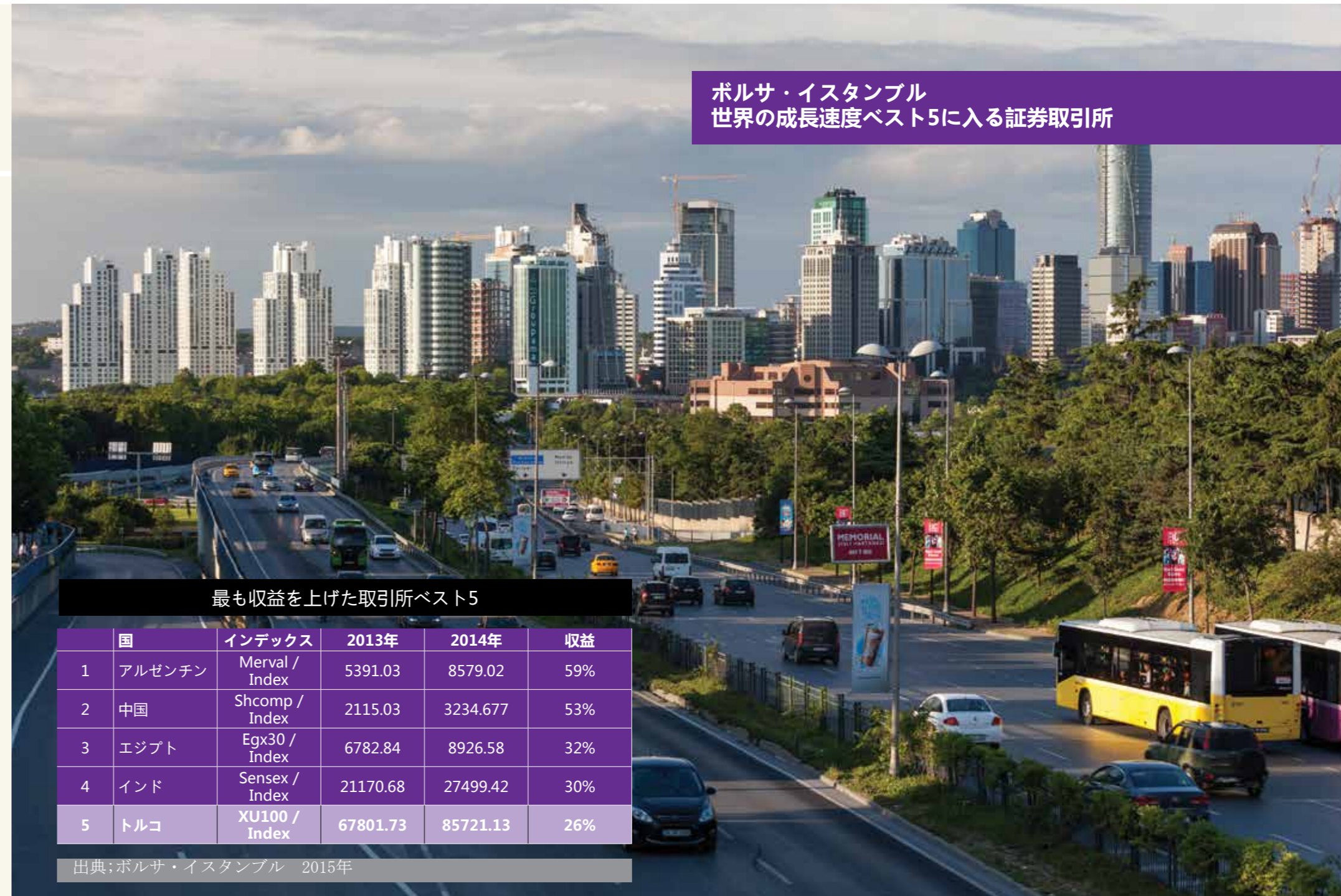
ボルサ・イスタンブルは、トルコ資本と金融市場で活動するすべての証券取引所を、一か所に集めたものです。ボルサ・イスタンブルは自由変動相場制と市場価値の面で、トルコの潜在性を反映する、リーダー取引所となることを目標にしています。

2014年、最も利益をあげた投資手段株

2014年に株式に投資した人は、年間平均26.4%の収益を得ました。このことで、BIST（ボルサ・イスタンブル）100インデックスは、2014年内に年間平均ベースで最も利率のよい投資手段として注目され、世界で最も収益をもたらすベスト5の証券取引所になりました。2014年10月の最低市場価値が20億ドルである取引所を含む、持続可能取引所指数では、ボルサ・イスタンブルは32位から11位に浮上しました。



ボルサ・イスタンブル
世界の成長速度ベスト5に入る証券取引所



最も収益を上げた取引所ベスト5

	国	インデックス	2013年	2014年	収益
1	アルゼンチン	Merval / Index	5391.03	8579.02	59%
2	中国	Shcomp / Index	2115.03	3234.677	53%
3	エジプト	Egx30 / Index	6782.84	8926.58	32%
4	インド	Sensex / Index	21170.68	27499.42	30%
5	トルコ	XU100 / Index	67801.73	85721.13	26%

出典;ボルサ・イスタンブル 2015年

ファイナンス

ボルサ・イスタンブル、NASDAQに

先日、NASDAQとボルサ・イスタンブルの間で、基本的資本市場においてイスタンブルの地域的中心地という立ち位置を強化し、ボルサ・イスタンブルのグローバルな存在を拡大することを目標とした、パートナーシップ協定が締結されました。

ボルサ・イスタンブルは、商業、物々交換、市場観察、リスクマネージメント、エネルギー契約も含めた、全資産種類において、NASDAQ OMXの世界規模市場技術に統合され、運営されます。また、ふたつの機関は地域で活発な協業を行います。ふたつの取引所に会員となっている企業と顧客に役立つこの戦略的パートナーシップは、長期合意の指針となっています。

ボルサ・イスタンブルは5つのカテゴリーで組織されています。

株式市場

発展する経営市場

借入市場

金融商品市場

貴金属及び貴石市場

イスタンブル国際ファイナンスセンタープロジェクト

ヴィジョン：「イスタンブルをまず地域的な金融の中心地に、最終的にはグローバル金融の拠点にする」

ヴィジョンに基づいてイスタンブル国際ファイナンスセンタープロジェクトは、都市の国際法、税、その他の規制の面で世界との融合に貢献するでしょう。金融業界に提供される製品やサービスは、既存のチャンスとローカルな潜在性も手伝い、より一層発展します。このプロジェクトの範囲で、法的基盤はEUの法体系をはじめとした国際制度と、その適用方法に統括されます。

イスタンブル国際ファイナンスセンターの戦略、活動計画は、2010年5月1日に官報で公知され、施行されました。様々な委員会を有するプロジェクトの範囲で、6つの混成プログラムが構成されました。このプロジェクトには、開発銀行、資本市場委員会、司法省、イスタンブル広域市、ボルサ・イスタンブル、教育省が関わっています。イスタンブル開発機構は、ボルサ・イスタンブルと協業して地域の技術的基盤を強化する5つの混合プロジェクトを技術面で支援しています。

世界有数の金融企業は、地域的拠点としてイスタンブルを選んで
います。

EU加盟に向けて着実に前進するトルコは、そのロケーションと経済規模によって、中東、中央アジア、北アフリカ、東ヨーロッパにとって重要な国です。

世界銀行関連機関である国際金融公社は、ワシントン以外最大のオフィス
をイスタンブルに置いています。東、南ヨーロッパ、中東と北アフリカ
デスクはイスタンブルからオペレーションが行われています。

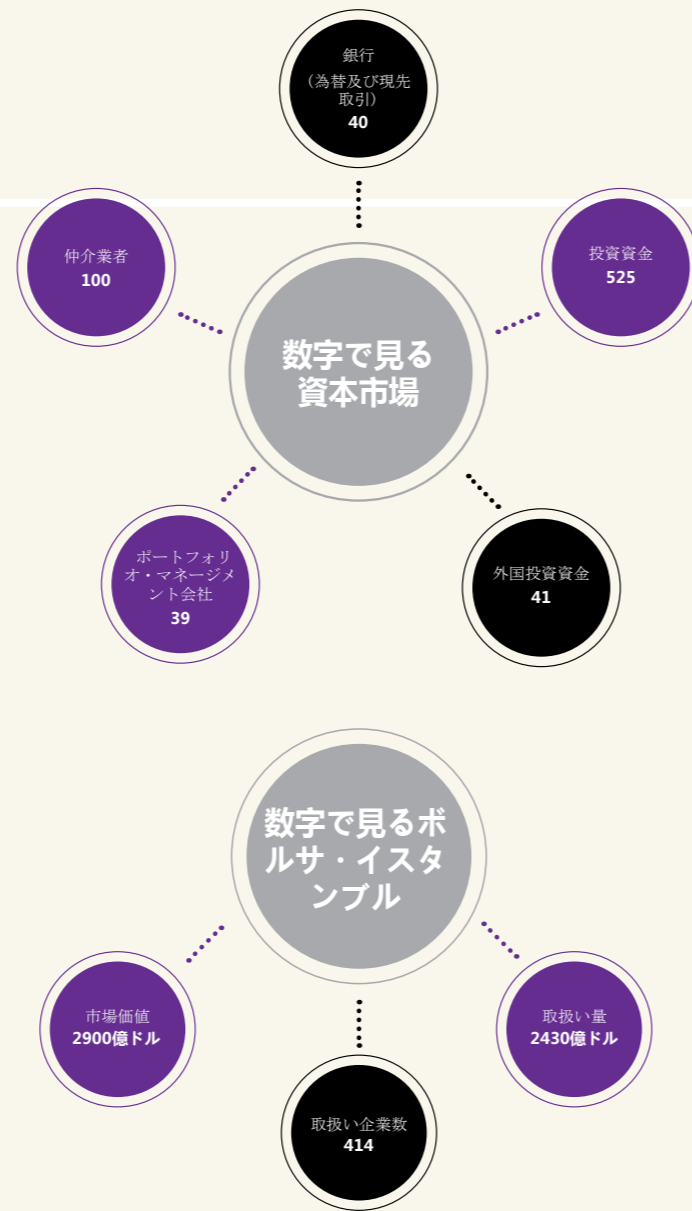
ファイナンス

金融業&保険業

増加する外国人投資量のためにトルコは、地域の拠点になるべく道を突き進んでいます。イスタンブール国際ファイナンス・センター・プロジェクトは、トルコが2023年に世界10大経済に入るという目標達成の布石にもなっています。最終目的は、トルコを地域的、そしてグローバルな金融の中心地にすることです。このプロジェクトによって、国営及び民間銀行、保険会社、銀行業以外の金融業者と、政府の関連組織の管理センターが、ひとつのファイナンスセンターに集められます。

NASDAQブランドも、そのロゴも加えたボルサ・イスタンブールに信用をもたらしました。発展する技術に調和し、知識の蓄積によってより一層市場に焦点を絞った環境の中で、トルコ市場の流動性は増加するでしょう。

その一方で、我が国で実現している経済安定、人口構成、法の整備とともに、顧客ベースの販売チャンネルの拡大は、保険業界にポジティブな影響を与えるでしょう。



出典:トルコ営業年間レポート-2014年



イスタンブール・ライフ

イスタンブールのコスモポリタン精神

東西が交わる場所にあるイスタンブールは、素晴らしい場所と同時に、様々な文化や宗教を一堂に集めた都市です。かつてはビザンツ、コンスタンチノポリスとして栄えたこの都市の遺跡は、拡大するメトロポールの各所に見られます。有名なアヤソフィア寺院は、歴史の中でキリスト教会としても、またモスクとしても機能していました。

各路地に歴史が香るイスタンブールは、時の流れに挑戦する遺跡と現代的な空間や、デザインアトリエを一堂に集めた21世紀の都市です。同時にカフェやクラブで楽しむこともできる、モダンなメトロポールとしても知られています。以上のことから、イスタンブールはUltimate City Guides誌によって世界第9位の国際都市にランキングされました。

グローバル&住みやすい都市

トルコで最も人口が多く、モダンで、アジアとヨーロッパの狭間にある都市：イスタンブール

灯りが消え、皆が寝静まった頃、街はアクティヴなナイトライフに再び活気づきます。イスタンブールを訪れ、ふたつとないナイトライフを満喫することができます。世界的に有名なタキシム広場で、人気のナイトクラブで楽しむアメリカ、ヨーロッパ、中東、アジアなど、様々な国々からの、様々な人々に出会うことができます。イスタンブールは、アクティヴなナイトライフでThe Cities Journal Magazineのナイトライフが盛んな都市ランキングで第14位になっています。

A.T.Kearney2014年グローバルシティ・インデックスによると、トルコの商業的首都であるイスタンブールは、豊かな帝国時代の文化と多様性をブレンドした豊富なマネージメント経験によって、東西をつなぐ政治的、商業的、文化的活動の中心として新たに名声を得て、ヨーロッパで第14位から11位へと大きく上昇しました。

世界第9位国際都市
(The Ultimate Urban Guides - 2014年)

ツーリストックなナイトライフで第14位グローバル都市
(Cities Journal - 2014年)

ヨーロッパのグローバル都市ランキングで第11位
(A.T.Kearney - 2014年)



イスタンブール・ライフ

生活水準

都市の生活水準と質は、雇用主と従業員にとって注意すべき重要な要素です。グローバル金融危機からの回復期に、イスタンブールは数えきれないほどのチャンスを生み出す文化的なバックグラウンドで、活発でダイナミックな都市へと変貌を遂げました。世界的な新聞のうちの一誌であるFinancial Timesの行ったアンケートで、イスタンブールはロンドン、ニューヨークに次いで世界で最も住みやすい都市に選ばれました。

また、Economist誌に40以上の指針を使った安全都市レポートが公開されています。デジタル、保健、インフラ、プライベートのセキュリティという4つのカテゴリーに基づいて構成されているレポートによると、イスタンブールはモスクワ、ムンバイ、ヨハネスブルグを凌いで、世界で最も安全な都市の41位にランキングしています。

世界で最も安全な第41位の都市
(The Economist - 2015年)

イスタンブール市民の希望水準：79%
(トルコ統計局 - 2013年)

高い希望水準

最近20年間でトルコの生活水準はかなり向上しました。お金は、幸せを買うことができなくても、高い生活水準に到達する重要な手段です。イスタンブールで一人当たりの平均世帯あたり純補正後可処分所得は、トルコ平均を大幅に上回っています。

イスタンブールの若い人口の希望水準は79%で、世界水準よりもかなり高くなっています。



ツーリズム

歴史と自然のユニークな調和

イスタンプルのユニークな美しさは、過去から現在に至るまで、世界中の人々を魅了してきました。ドイツをはじめとして、イギリス、アメリカ、ロシアなどから、毎年1000万人以上の外国人観光客がこの都市を訪れます。イスタンプルの競争力の高い観光業の力は、ヴァリエーション豊富、歴史的で国際的な構造と美しい自然のユニークな調和に培われています。

イスタンプルには様々な民族、宗教の人々が調和の中で共存しています。これはある面で都市の多様性に貢献しています。ボスフォラス海峡を高めから見下ろす摩天楼に、古代遺跡に数メートルしか離れていない5つ星ホテルが寄り添っています。2014年に1180万人、2015年には1260万人の観光客が訪れると見られているイスタンプルは、世界第5位の最もポピュラーなディスティネーションになりました。観光業もトルコの経済にかなりの割合で貢献しています。

コンGRES・ツーリズム

統計によると、1901年に世界中で70のコンGRESが開催されました。今日、この数字は急速に増加し、年間合計11,505件の国際会議が開かれています。国際コンGRES、会議協会の国際協会会議市場レポートによると、イスタンプルがホストとなったイベント数2014年に130件にまで増加し、国際会議開催地としてベスト10入りを果たしました。イスタンプルでは2000年には20件のイベントが開催され、第40位でした。

2014年に130の国際イベント
(国際コンGRES・会議協会)

2000年の第40位から2014年には第9位に

500人以上参加のコンGRES順位では第1位
(国際コンGRES・会議協会)



ツーリズム

ヨーロッパで最速の成長を遂げた旅行先

世界で最もポピュラーな観光インターネットサイトのうちのひとつ、TripAdvisorは、2014年に「世界で最もポピュラーなディステーション」として、イスタンブルを選んでいました。イスタンブルは前年に比べて11順位も上昇し、ロンドンやローマなど長年上位を占めていた都市を抜かして成功を収めました。

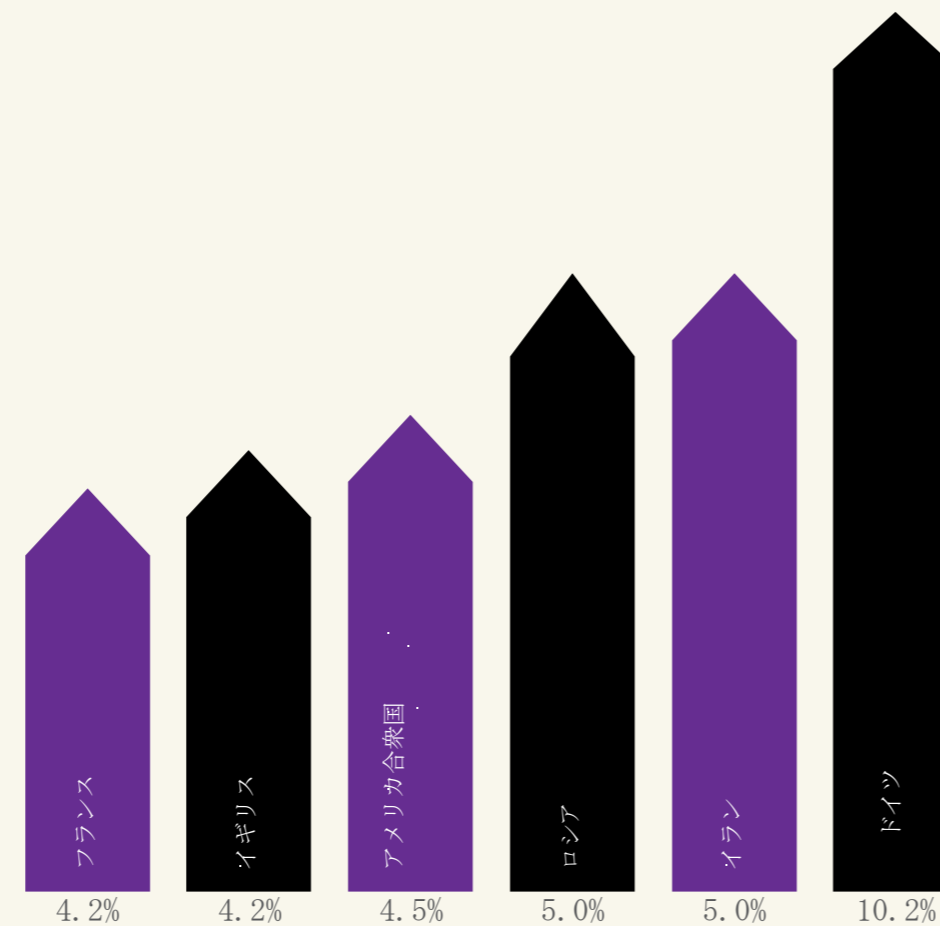
イスタンブルが歴史とモダンが共存するアクティブな都市であることが、観光客がこの都市を選択する理由となっています。内包する多くの歴史的モスク、記念碑、数えきれないほどのモダンなブティック、ホテル、レストランなどは、様々な層の様々なスタイルに；グルメやファッションを求める人々に呼びかけています。

イスタンブルはカルチャー・ツーリズムやアミューズメントの他、同時に観光の種類が多さでも世界でリーダーとなっている都市です。150、000床のキャパシティで、イスタンブルは世界中からより多くの観光客を受け入れる準備ができています。

16万3千床の宿泊キャパシティー
(文化観光省 - 2015年)

79の操業中、44の建設中の5つ星ホテル (文化観光省 - 2015)

最も観光客が訪れる国



出典：県文化観光局2014年

ヨーロッパで最速の成長を遂げた旅行先
(MasterCard - 2015年)

1260万人の観光客
(MasterCard - 2015年)



ツーリズム

医療ツーリズム

毎年約1200万人の観光客が文化や娯楽のためではなく、様々な目的でイスタンブルを訪れています。毎年何十万人もの外国人患者が治療目的でトルコへ来ています。3万2千人のキャパシティを有する224件の病院を含む、イスタンブルの医療基盤は、眼科手術、歯科治療、整形手術、植毛など、多くの治療分野を患者の皆様に提供しています。

世界的権威を有する認可を取得した病院

認可取得にはかなりの期間と厳しい審査を受けなければなりません。認可荷必要なスタンダードを満たすためには、様々な準備やパフォーマンスが要求されます。近年、イスタンブルでは認可取得病院が増加しています。イスタンブルにある29の病院は、j CIによって全世界で認可された医療ケアセンターの中で、4%という重要な割合を占めています。

JCI認可医療ケアセンター

世界 : 768

トルコ : 52

イスタンブル : 29

(www.jointcommissioninternational.org - 2015年7月)

2000-2014年の間にイスタンブルを訪れた観光客の年間

増加率 : 12%

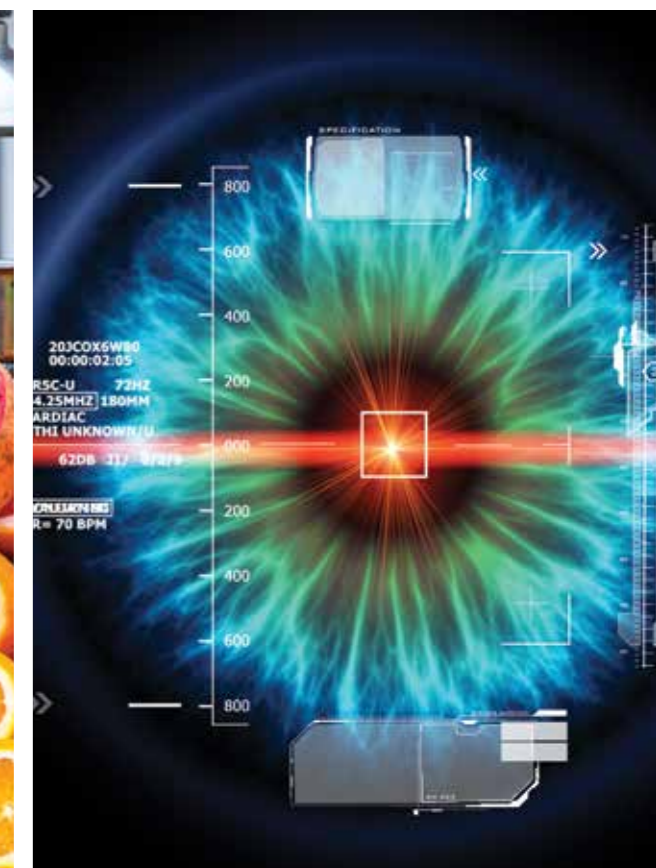
(県文化観光局 - 2014年)

病院の病床数 : 3万2千床

(県保健局 - 2013年)

233病院

(県保健局 - 2013年)



ツーリズム

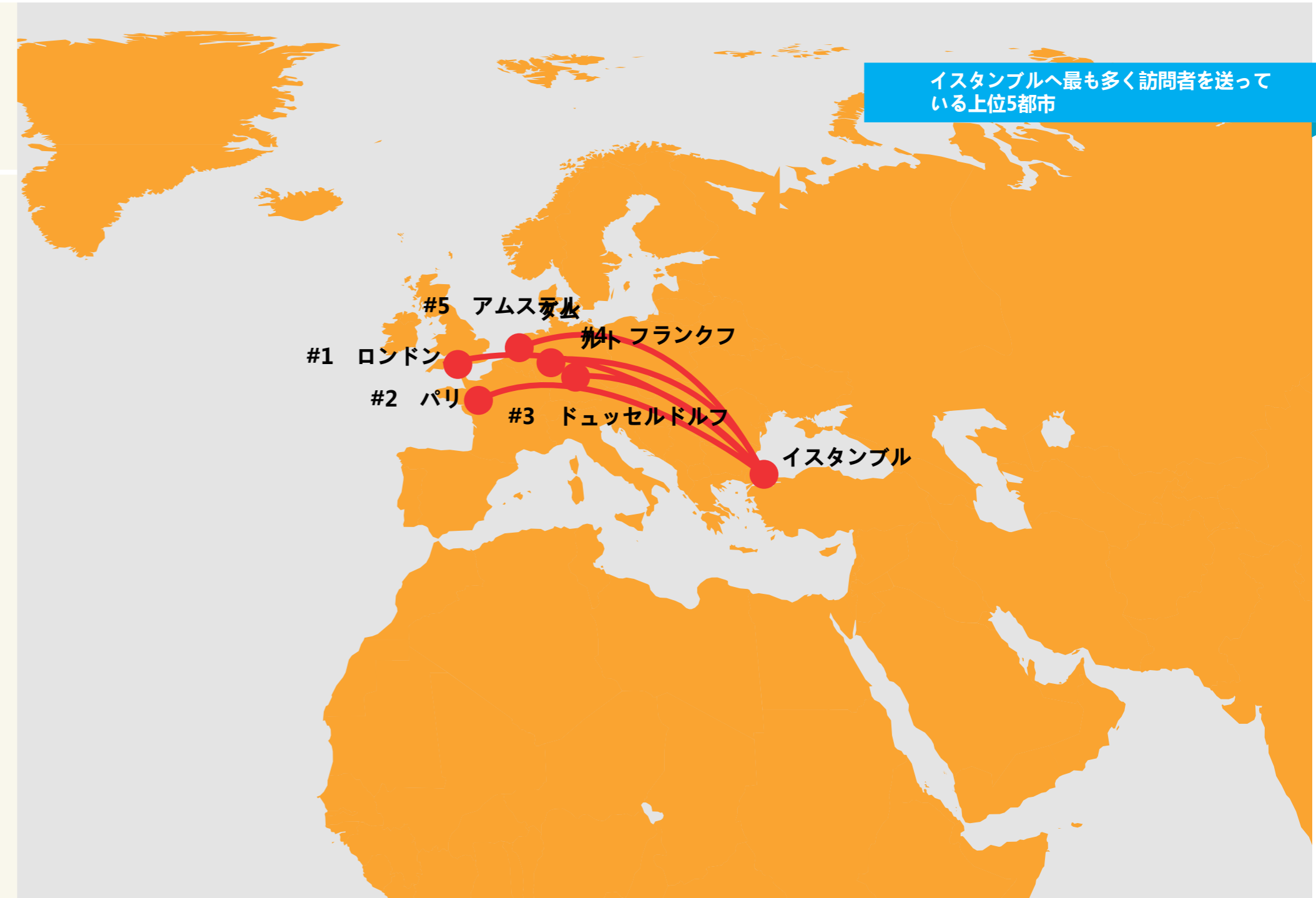
時間が止まった都市で、かけがえのない瞬間を

イスタンブルは、世界スタンダードの食事、エキサイティングなナイトライフ、高級ホテル、豊かな自然や歴史、その他にも多くの比類なき素晴らしさを訪問者にふんだんに提供します。この都市は、新たな行き先を探している人々にとって魅力的なロケーションにあり、多種多様な観光の種類でダイナミズムや活気を年間を通して保っています。貴方を待っている様々な選択肢を、この無二の都市ですべて見つけることができます。カルチャー、コンGRES、イベント、クルーズ、ヨット、医療、ゴルフ、信仰、スポーツなど、これ以外にも多くのアミューズメントが貴方を待っています。

訪問者最多都市 (2015年)

	都市	訪問者数	消費額 (百万ドル)
1	ロンドン	471	422ドル
2	パリ	406	275ドル
3	デュッセルドルフ	385	373ドル
4	フランクフルト	350	338ドル
5	アムステルダム	310	192ドル

出典: MasterCard, 2015年



イスタンブルの文化遺産

古代と現代への旅

イスタンブルは、魅惑的な歴史とモダンな文化を完璧に融合させています。このため、2010年にはヨーロッパ文化首都に選ばれました。イスタンブルは今日、UNESCO世界遺産に登録されています。アジアとヨーロッパの趣を反映するこの都市には、神秘的で歴史のある、古代と現代が融合しています。深い歴史が現代に調和しているだけでなく、同時に年間を通して活発な芸術活動が行われていることも、イスタンブルを特別な街にしているまた別の要素です。

リズムを感じて

イスタンブルの博物館は、世界スタンダードでクラシックなコレクションや古代文明から現代芸術に至るまでの旅を皆様に提供しています。数えきれないほどの映画館、コンサートホールは、都市の社会生活の活気のバロメーターです。またこれとは別に、この都市で行われている祝典、コンサート、ストリート・ファッションショーなど様々なパフォーマンスは、訪問者の観光をより豊かなものにしてくれます。

704の映画館
(トルコ統計局 - 2013年)

189の劇場
(トルコ統計局 - 2013年)

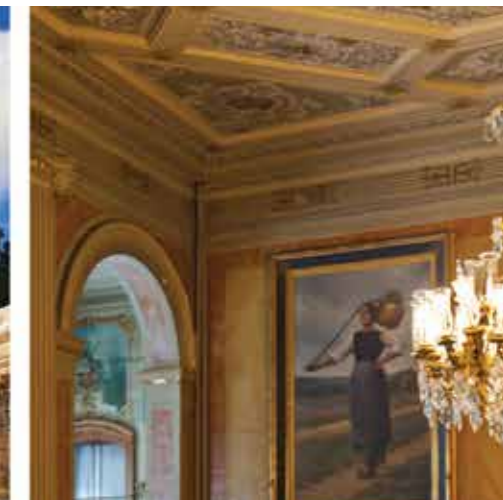
78の博物館
(トルコ統計局 - 2013年)

トルコ料理の豊かなテイスト

美味しい料理やレストランをテーマにした世界ツアーがあれば、この街は十分すぎるほどその要素を秘めています。イスタンブルでは最高の市場、パティスリー、スイーツの屋台、食材店、そして料理教室などが貴方を待っています。貴方がグルメで旅行好きならば、世界最大のグルメ都市のうちのひとつがイスタンブルであることは間違いありません。Cities Journalのウェブサイトによると、イスタンブルは世界最良の料理を提供する都市の4位にランキングされています。

ショッピングを済ませたら、次はトルコ料理の素晴らしいテイストを味わう番です。輝くばかりのボスフォラス海峡の景色と、イスタンブルのグルメワールドに突入する準備はできていますか。ケバブやシーフードに限らない、モダンと伝統が融合したテイストを味わいに、貴方をご招待します。

世界最良の料理を提供する都市第4位
(Cities Journal - 2015年)



イスタンブールの文化遺産

デラックスでデリケート

ショッピングと言えば、探求心が頭をもたげてきます。イスタンブールでショッピングと言えば、尽きることのないパッションの冒険です。

Jones Lang LaSalleのヨーロッパのディスティネーション2015年の指数によると、イスタンブールは国際リテイリングにとって最も魅力あるロケーション順位で第7位に入っています。都市のリテイリング市場は、数多くのモダンなショッピングセンターで大きな転機を迎えています。

ショッピングの楽しみ

一人当たりの所得の増加と全体的な経済の向上で、イスタンブールのリテイリング業界では消費が上向きになり、国内外のプレーヤーが活躍する現代的な尺度の分割が進んでいます。

建設中の22件を含めた合計115件のショッピングセンターで、世界でも最多のショッピングセンター数を誇るイスタンブールでは、ショッピング・フェスティバルも開催されます。2011年以来売上に関してこの都市にだけでなく、ショッピングやアミューズメント業界にも大きく貢献している「イスタンブール・ショッピング・フェスト」には、毎年世界中からの訪問客をお迎えしています。

フェスティバルの目的は、イスタンブールを世界のショッピング、文化、アミューズメントの中心地にし、訪問者に毎年この素晴らしい街に息吹を吹き込む楽しいイベントを体験してもらうことです。

22件の建設中のものも含め、合計115件のショッピングセンター (Maptriks Consultancy - 2015年)

国際リテイリング業界にとって最も魅力あるロケーションの中で、ヨーロッパ第7位(Jones Lang LaSalle - 2015年)



出典:ヨーロッパ・ディスティネーション・レポート JONES LANG LASALLE, 2015年

ショッピングセンター分布地図



不動産

高い住宅需要

イスタンブルの中心部が急速な変化を遂げている一方で、重要な中心街では再開発が進められ、歴史的建造物は修復され、新たな都市づくりが推進されています。この都市再開発は、建設や不動産投資会社にも大きなチャンスを提供しています。一方で、イスタンブルの不動産市場には外国人も大きな関心を寄せています。リスクを回避し、高い収益を得ようとする投資家にとって、不動産業界はその魅力を保っています。

回復傾向に入ったヨーロッパ

経済停滞や政情不安がある地域もありますが、世界全体では最近不動産（オフィス）と多くの業界に回復傾向が見られてきました。このトレンドは今後も続くと思われています。

Cushman & Wakefieldオフィスのレポートにもあるように、最近特に不動産市場ではヨーロッパからポジティブな信号が発信されており、これはヨーロッパの経済が回復期に入ったことを示しています。都市によって異なりますが、住宅需要による家賃収入の面でもポジティブな動きが見られます。

不動産におけるイスタンブール標準

ヨーロッパの不動産トレンドに関して、PricewaterhouseCoopersが2015年に発表したまた別のレポートでは、イスタンブールが力強い経済に裏付けられた市場であることが、投資家に人気がある理由だと述べています。若く、急速に増加する7700万人の人口で、トルコでは最近収入が増加し、高所得の中流階級層が拡大しました。この状態は、不動産市場にもかなり魅力的な状態を作り出しました。

2012年に外国人の不動産取得制限が無くなったことで、イスタンブールに外国人投資家が興味を示すようになりました。トルコ不動産投資会社連合は、特に外国人投資家の投資額が、独立滞在許可取得が可能になってから、今後100億ドルに上ると予想しています。

2015年のKnight Frank資産レポートでは、高級品消費トレンド、資産投資、資産分布の面で構成される国際住宅指数による、世界ベスト100都市の住宅価格の変動を分析しています。レポートによると、イスタンブールはロサンゼルス、アムステルダムといった都市を抜き、第3位になっています。



リーダー格の都市の住宅価格指数

順位	ロケーション	地域	変動率（年間）
1	ニューヨーク	北アメリカ	18.8%
2	アスペン	北アメリカ	16.0%
3	イスタンブール	中東	15.0%
4	パリ	アジア	15.0%
5	アブダビ	中東	14.7%
6	サンフランシスコ	北アメリカ	14.3%
7	ダブリン		13.4%
8	ケープタウン	アフリカ	13.2%
8	マスカット	中東	13.2%
10	ロサンゼルス	北アメリカ	13.0%

出典:Knight Frank, The Wealth Report 2015年

不動産

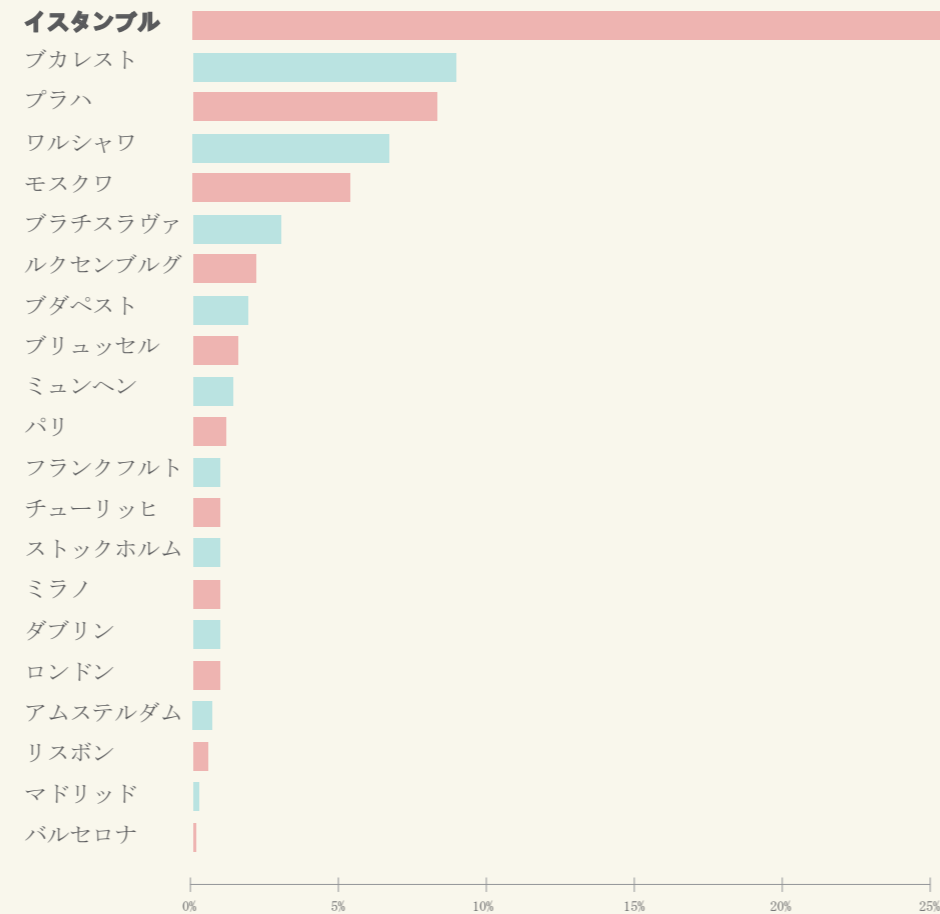
成長の潜在性

図にも見られるように、住宅需要の面でイスタンブルは他のヨーロッパ都市に大きく差をつけています。イスタンブルは住宅需要だけでなく、質の高い住宅への要求の点でも不動産業界で上位に浮上しています。住宅購入数の面でもイスタンブルは他の中進国の都市を抜いています。

不動産投資家の大部分は伝統的な市場に興味を持ち続けていますが、この市場では価格競争が激しく、チャンスや利点も減少し始めたことから、投資家は新たな市場開拓に中進国の市場へ乗り出してきました。リスクを厭わない投資家にとって、2014年とそれ以降は投機的な動きが高まると予想されています。高い成長率と比較的低いコストで、イスタンブルもこの動きからかなりの利益を上げることが期待されています。不動産業界は高い収益率で投資家にリスクのない利益を得るチャンスを提供し続けるでしょう。

住宅ストック率で世界第2位住宅需要
(Cushman & Wakefield - 2015年)

新たな住宅需要 (2014-2016年)



出典: Cushman & Wakefield Research, Global Office Forecast Report 2015-2016年



2015年のヨーロッパ・オフィス市場における年間賃貸料
(Cushman & Wakefield Research, Global Office Forecast Report 2015 - 2016年)

イスタンブル : 52ドル/m²/年

マドリッド 38ドル/m²/年

ブリュッセル 36ドル/m²/年

バルセロナ 29ドル/m²/年

不動産

新しいトレンド

増大する人口で、イスタンブルは大都市化する街の特徴を保っています。急速な人口増加は、都市化の必要性を高めています。このため、古い地区の再開発や活性化が、豊かな遺産を有する街にとって重要となってきます。

Pricewaterhouse Coopersが作成した2015年ヨーロッパの新たな不動産トレンドレポートでは、学生向けの住宅が最近増加しています。本社がドバイのAbraaj Group投資基金は、最近18カ月以内に学生向け住宅に多くの投資をしました。この投資のほとんどは、オルタキョイとビュユクチェキメジェ地区に大名われました。学生数の面でロンドンを凌いでいるイスタンブルでは、学生向けの住宅投資が次第にポピュラーになっていると報告されています。

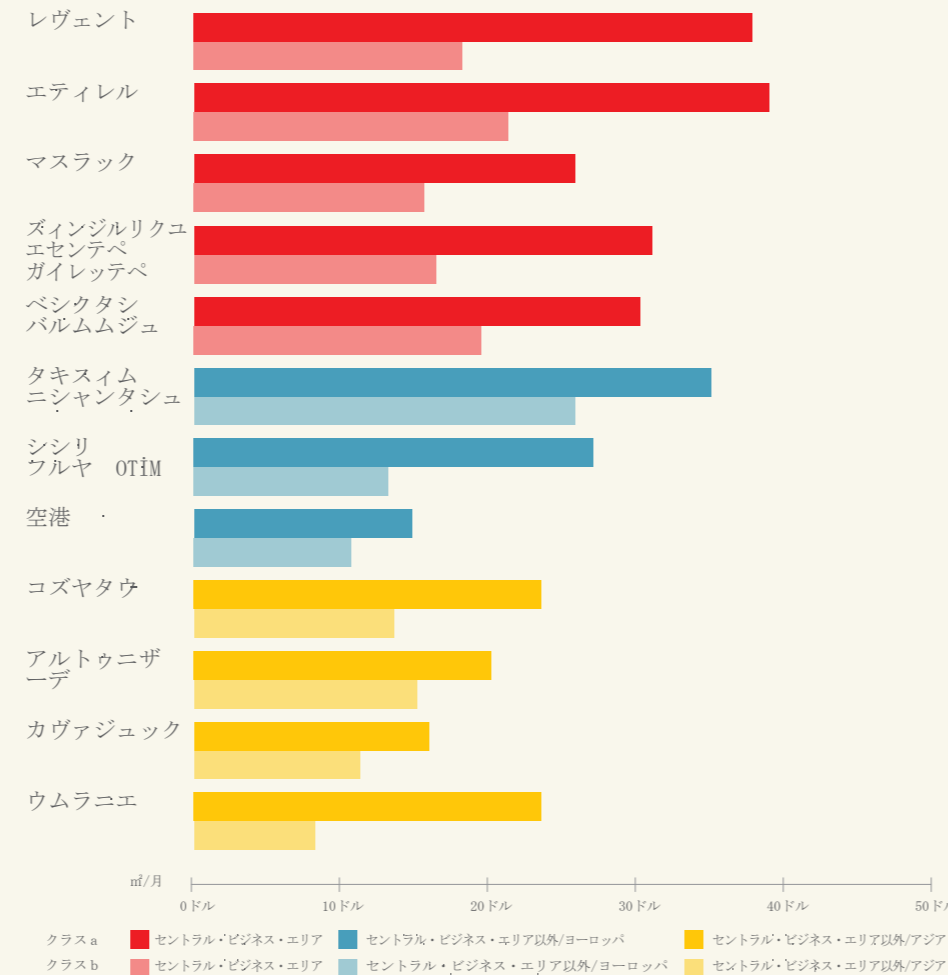
東ヨーロッパ、コーカサス、中東への近さから、ネスレ、マイクロソフトといった巨大企業その他、銀行や保険業の起業もイスタンブルを拠点としています。

トルコの年間住宅販売

	販売済住宅数(千)
イスタンブル	225
アンカラ	132
イズミル	72

出典:トルコ統計局 2014年

地区別賃貸料



100万ドルで購入できるヨーロッパの高級住宅面積 (m²)
 イスタンブル: 84 m² 北京:61 m² パリ:50 m² ロンドン:21 m²
 (Knight Frank - 2015年)

突出した業界

情報通信技術

新しい技術に素早く対応できる若い世代と情報通信技術は、イスタンブールで重要な位置を占めています。都市情報通信技術の分野で活動しているかなりの数の企業を誘致し、技術拠点としての位置を強化しました。イスタンブールで出願された特許の数もかなり増加しています。イスタンブールの53大学と5つのテクノパークは、起業家や企業にとって重要なチャンスを提供しています。

若い人口のオンラインサービス需要が高まるにつれ、ブロードバンドへのアクセスが簡素化、拡大した結果、イスタンブールで情報通信技術がより一層発展することが期待されています。若く、学歴が高く、有能な人口が提供しているチャンスを利用したい国際企業は、今イスタンブールに注目しています。

情報通信技術従事者の40, 5%がイスタンブールで雇用
(厚生局 - 2013年)

情報通信技術はイスタンブールが成長する上で最も競争力がある分野:34.01%
(イスタンブール地域計画2014-2023年)



ライフ・サイエンス

技術的基盤、情報の蓄積、そして活発な経済は、イスタンブールがライフ・サイエンスにおいて地域的な中心地になることを容易にしています。この範囲で、バイオテクノロジー、医療機器、薬品、医療技術分野が浮上しています。近年、医療サービスへの投資においてイスタンブールは目がくらむほどのパフォーマンスを示しています。

イスタンブールは低コストながら高品質のサービスで、美容整形手術の分野で突出しています。都市は、医療ツーリズムやライフ・サイエンスに対するR&D活動において、重要拠点となることを目標にしています。この範囲で、この地域にあるテクノパークは、ライフ・サイエンス分野に重点を置いています。これに加え、チャタルジャでバイオテクノロジーのテクノパーク建設が推進されています。このテクノパークエリアは、トルコ初で世界有数のテクノパークとなるでしょう。このプロジェクトでイスタンブールはR&Dとイノベーションに焦点を絞り、サービス重視のビジネスチャンスを提供する、技術革新拠点となることを目指しています。

12の技術移転オフィス
(科学産業技術省-2015年)



突出した分野

クリエイティブな産業

2014-2023年イスタンブル地域計画でも強調されている通り、地域の質が高い人材とその情報蓄積とスキルは、クリエイティブな産業においても評価されています。イスタンブルで目立つ、この地域で発展したクリエイティブ産業とは、伝統的な文化的製品、建築、手工芸、舞台芸術、視覚聴覚的製品、メディア、ファッション、映画、音楽、デザイン、プレス、出版、視覚芸術などの分野で、個人の知識や能力とスキルが高品質の製品へと転換されることです。クリエイティブ産業に対する教育は、イスタンブルを他の都市とは差別化し、地域がグローバルスケールで競争できるようになるよう貢献しています。

環境&エネルギー

4.916のトルコ映画、芝居の上演
8.107の外国映画と芝居の上演
(トルコ統計局-2013年)

3.194のトルコ舞台ショーの上演
479の国際舞台ショーの上演
(トルコ統計局-2013年)

2.460人のプレスカード取得者
17.8億人のインターネットメディア・ビジター
(トルコ統計局-2013年)

今後の20年間で世界的エネルギー需要は40%増加し、この増加の大部分は中進国経済で実現すると予想されています。地球温暖化を防止し、環境を保護するために、イスタンブルではエネルギーの効率化とエコ・イノベーションを実践する、様々なプロジェクトが実施されています。この意味で、イスタンブルはクリーンエネルギー技術においても、多くのチャンスを持っています。

エネルギー分野はイスタンブルの経済成長に平行したトレンドを示しています。エネルギー需要が多く、石油と天然ガスなどを輸入しているトルコは、外国投資にとって魅力的な市場です。6900万の契約者がいるイスタンブルには、全トルコの17.5%の電気が消費されています。天然ガス消費においては、2000-2014年の間に166%増加し、契約者数も570万人に達しました。

この意味で、エネルギー分野は急速に自由化し、大きな転換期にさしかかっています。トルコの地理的位置の重要性を考えると、東と日の間で戦略的なエネルギー・コリドールとして機能しています。

イスタンブルのエネルギー消費

	契約者数(百万)	消費量
電力	6.9	3490万MWh
天然ガス	5.7	49億m ³

出典: Bedas, Ayedaz, Igdas, 2014年

世界で最も持続可能な都市第36位
(ARCADIS Sustainable Cities Index - 2015)

突出した分野

教育

教育は社会的、経済的発展の基礎です。1440万人の人口を有するイスタンブールでは、小学校から大学まで3百万人以上の学生が学んでいます。この数字の66, 3万人ほどが、53の大学で勉強中です。OECDの2013年のレポートでは、トルコは高等教育を受ける学生の数においても、大きな進歩を遂げています。

トルコは長い間、高等教育においてヨーロッパ水準に達する決意を示してきました。このために三段階構造をとり、ヨーロッパ単位互換制度を適用しました。またトルコの大学は、EUエラスムス交換学生制度に入っており、イスタンブールの大学だけでも何千人もの外国人学生を受け入れています。トルコでの民間分野における教育のシェアは4%ほどであり、そのほとんどがイスタンブールに集中しています。

2023年の目標に向けて、25%への引き上げが考えられている教育の民間分野でのシェアは、この分野に投資をしようとする外国資本にとっても、魅力的なチャンスを秘めています。また、適用された新奨励制度は教育分野に投資を考えている起業家に、大きなアドバンテージをもたらしています。

トルコの大学における外国人学生の数は増加傾向にあります。政策を打ち出す側が注意している重要な事柄の筆頭に、国の、特にイスタンブールの国際的高等教育の位置が挙げられます。オックスフォード・ビジネスグループが2013年にトルコ向けに作成したレポートでは、イスタンブールは国際学生の数において、近年大きな増加と成功を収めていると報告されています。



航空業

イスタンブールの航空業界に関する目標は、未だにテスト段階ですが、国際的なフライトや宇宙産業分野において重要な中心地になるという目標に向かって、潜在性を形成しています。資本特が集中する分野であるため、宇宙防衛産業はイスタンブールで大きな付加価値を有しています。

防衛産業が250億ドルの輸出という目標を達成するため、宇宙産業は重要な役割を果たすでしょう。イスタンブールのアジア側にあるテクノパークは、イスタンブールの宇宙防衛産業の基本施設です。戦略的分野の外部依存を削減するために多くの政府支援が行われていることも、イスタンブールが提供するチャンスを増大させています。

航空産業は、大規模で戦略的投資奨励によって支援されます。



突出した分野

イスタンブルが競争力を有する分野

順位	分野
1	物流
2	不動産
3	高度なサービス
4	金融&保険
5	ツーリズム&カルチャー

出典:イスタンブル地域計画2014-2023年、イスタンブル開発機構

物流

トルコの物流分野は65億ドルの市場を有し、40万人を雇用しています。2014年に2180億ドルであり、次第に増加する国際取引量は、イスタンブルが物流面でもどれほど重要であることを示しています。既存の空港と港湾は近代化され、第3の橋と空港建設は継続中です。世界有数のトップ500の物流会社のうちの11社は、トルコでも活動しています。

イスタンブルにはアジア側に一か所、ヨーロッパ側には2か所の国際港があります。国際コンテナ誌によると、100貨物港の中でイスタンブルは、地中海地域で最も活気ある大4の貨物港を有しています。また、アタテュルクとサビハ・ギョクチェン空港も貨物機のフライトでhあ突出した存在です。また一方で、中国へ伸びる鉄道のおかげで、商品も問題なく輸送できます。

THYカーゴは物流強化

旅客数の増加にともなって、トルコ航空はカーゴ網とサービスを急速に拡大しています。THYカーゴは、世界有数の生産、商業の中心地への物流サービスを、活発に行っています。2015年にTHYカーゴは9台の貨物機、259台の旅客機で、109か国、265ディスティネーションに輸送サービスを提供しました。

アクセス網に新たなディスティネーションを加え、THYカーゴの品質と秀逸なサービスは、より多くの人々に届けられます。



建設中の2つの
大プロジェクト

ヤヴズ・スルタン・セリム
大橋



新イスタンブル
空港

高度なサービス

近年、イスタンブルのサービス業は成長し、地域経済の最重要要素として突出しています。この意味で、高い付加価値を生み出す潜在性を有した高度なサービス業界（コンサルティング、法律、マネージメント・サービス、広告）は、地域の発展のために大変重要です。



アドバンテージ・エリア

技術開発エリア

技術開発エリア（TGB）は、またの名をテクノパークと言い、大学、研究機関、企業と生産業者の協業で、国家産業が国際競争力をつけ、輸出できる構造に到達することを目標に、技術情報を生み出し、製品と生産管理にイノベーションをもたらし、製品品質あるいは標準、そして生産性を高め、生産コストを削減し、技術情報を商品化し、技術力の高い生産と起業精神を支援し、中小企業の最新技術への統合を促し、科学技術高等機関の決定を考慮しつつ、技術集中分野に投資の可能性を創り出し、探求心旺盛なスキルの高い人材に雇用のチャンスを与え、技術移転を助力し、高度先進技術をもたらす外国資本の誘致を促進する、技術基盤を確保する目的で設立されています。

技術開発エリアは、主に大学のキャンパス、あるいはその周辺に設置されています。イスタンブルには5か所のテクノパークがあります。アル・テクノケント（イスタンブル工科大学）、ユルドゥズ・テクノパーク（ユルドゥズ工科大学）、イスタンブル・テクノケント（イスタンブル大学）、ボアズィチ・テクノパーク（ボアズィチ大学）、そしてテクノパーク・イスタンブル（イスタンブル商業大学）

テクノパーク名	所属大学	WEBサイト	E-MAIL
ボアズィチ・テクノパーク	ボアズィチ（ボスフォラス）大学	teknopark.boun.edu.tr	teknopark@boun.edu.tr
テクノパーク・イスタンブル	イスタンブル商業大学	teknoparkistanbul.com.tr	info@teknoparkistanbul.com.tr
ユルドゥズ・テクノパーク	ユルドゥズ工科大学	yildizteknopark.com.tr	info@yildizteknopark.com.tr
アル・テクノケント	イスタンブル工科大学	ariteknokent.com.tr	ariteknokent@ariteknokent.com.tr
イスタンブル・テクノケント	イスタンブル大学	teknokent.istanbul.edu.tr	info@istanbulteknokent.com.tr

TGB（技術開発エリア）で会社を設立するアドバンテージ

R&Dソフト会社の活動には、所得税と企業税が免除されます。

研究者、ソフトウェア開発者、R&D従事者の給与は、あらゆる税から除外されます。

社会保障保険料が50%控除されます。

アプリケーション、ソフトウェア売上にはVATが免除されます。

技術開発エリア



アドバンテージ・エリア

産業団地

産業の発展はトルコ経済の議題の中でも上位を占めています。この分野での進歩と並行して、法の整備にも必要な基盤が築かれています。

4562号の産業団地法（OSB）は、産業団地を、「産業の適宜の場所への設立、無計画な産業化や環境問題発生の防止、都市化を先導し、ソースを有効活用し、情報と情報科学技術を利用し、産業の種類をある一定の計画の中で配置し、発展させる目的で、範囲が決められた土地開発計画において、必要な管理的、社会的、技術的インフラと、小規模の製造、修理、商業、教育、保健エリア、技術開発エリアが設置された、計画的にある一定のシステム内で産業のために割り当てられ、形成され、本条令に基づいて経営される物品やサービス生産地域」と定義しています。

イスタンブルにはアジア側に2か所、ヨーロッパ側に6か所、合計8か所の産業団地があります。これらは順に、ベイリックドゥズOSB、イキテッリOSB、ドゥドゥルルOSB、トゥズラOSB、アナドル・ヤカス（アジア側）OSB、ビルリックOSB、イスタンブル・デリ（皮革）OSB、トゥズラ・キムヤ・サナイジレル（化学産業）OSBです。

産業団地（OSB）名	WEBサイト	E-MAIL
イキテッリOSB	iosb.org.tr	iosb@iosb.org.tr
ベイリックドゥズOSB	ibosb.com	yonetim@ibosb.com
アナドル・ヤカス（アジア側）OSB	iajosb.com	info@iajosb.com
イスタンブル・デリ（皮革）OSB	ideriosb.org.tr	info@ideriosb.org.tr
ビルリックOSB	birlikosb.org.tr	info@birlikosb.org.tr
ドゥドゥルルOSB	idosb.org.tr	idosb@idosb.org.tr
トゥズラOSB	itosb.org.tr	itosb@itosb.org.tr
トゥズラ・キムヤ・サナイジレル（化学産業）OSB	kosb.com.tr	info@kosb.com.tr

産業団地（OSB）に会社を設立するアドバンテージ

土地購入にVATの免税。

施設建設完成後5年間固定資産税の免税。

施設建設と経営において、地方行政税の免税。

安い水道、都市ガス、通信費。

産業団地



アドバンテージ・エリア

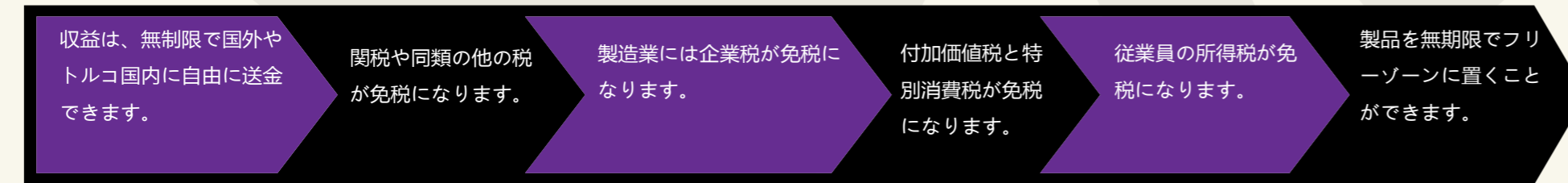
フリーゾーン

フリーゾーン（S B）とは、トルコの関税地域の一部であり、自由流通品ではない物品に何らかの税関制度を適用せず、自由流通に供給せず、関税規則に記載の状態以外に使用されず、あるいは消費されない状態で置かれ、輸入税による商業的措置や為替規則適用の面でトルコ関税地域以外にあると認められる、自由流通に投じられた物品がフリーゾーンに置かれていることで、普通に輸出できる権利が利用できる場所です。フリーゾーンの設立目的に関する規定には、輸出に対する投資や生産を奨励し、直接外国投資や技術的起業を加速し、企業の輸出を促進、国際取引を発展させること、とあります。この地域では、関税や為替責務に関する規定は適用されません。

イスタンブルには3か所のフリーゾーンがあります。それらは順に、トラキア地域、アタテュルク空港フリーゾーンと、商工業フリーゾーンです。

フリーゾーン名	WEBサイト	E - MAIL
アタテュルク空港 S B	isbi.com.tr	info@isbi.com.tr
商工業 S B	desbas.com.tr	desbas@desbas.com.tr
トラキア S B	isbas.com.tr	info@isbas.com.tr

フリーゾーンに企業を設立するアドバンテージ



投資インセンティブ



「投資における政府支援についての決定」に関する最初の公知は2012年4月9日に行われ、5つのアネックスからなる2012/3305号の「投資における政府支援についての決定」は2012年6月19日付28328号の官報に発表され、施行されました。新しいインセンティブ制度の目的は下記の通りです。

- 経常勘定の赤字削減目的での輸入依存が高い中間材料や製品の生産拡大。
- 発展が遅れている地域への投資支援拡大。
- 発展の地域格差の是正。
- 支援要素の活発化。
- グループ活動への支援。
- 技術改革を促す中-高技術を含む投資への支援。

- 新インセンティブの適用開始とともに、生産技術の広範使用とR&D費用の拡大を目標としています。
新インセンティブには4つの適用種類があります。

- 一般的インセンティブの適用
- 地域的インセンティブの適用
- 大規模投資へのインセンティブ
- 戦略的投資へのインセンティブ

新インセンティブ制度における支援要素

VATの適用外

投資インセンティブ証明書範囲において、国内外から入手される投資物品、機械、装置などにはVATが免税されます。

関税の免除

投資インセンティブ証明書範囲で、国外で入手される投資物品、機械、装置に、関税はかけられません。

税控除

所得あるいは企業税には、投資額に応じた控除が適用されます。

保険料の雇用主負担分への支援

投資インセンティブ証明書範囲において実現した投資の結果、促進された雇用を支払わなければならない保険料の雇用主負担分の、最低賃金に相当する部分を省が負担します。この支援を利用したい場合、インセンティブ証明書の完成査証を作成することが必須です。

保険料の労働者負担分への支援

投資インセンティブ証明書範囲の投資で促進された追加雇用を支払わなければならない保険料の、労働者負担分の最低賃金に相当する部分を省が負担します。第6地域でのみ行われる地域的な大規模、戦略的投資に対して発行されるインセンティブ証明書は、最長で10年間を前提とします。

利息支援

投資インセンティブ証明書範囲において利用される、最低1年の定期クレジットへの金融支援。インセンティブ証明書に登録された固定投資額の70%まで利用されたクレジットに関して支払われる利息あるいは利益配当の一部を、省が負担。

投資場所の割り当て

投資インセンティブ証明書が発行された大規模投資、戦略的投資、地域的支援を利用する投資には、財務省が定める方法と基本の枠内で、投資場所が割り当てられます。

VATの返金

固定投資額が5億TL以上の戦略的投資の範囲で実現した、建物の建設費用に支払われたVATは返金されます。

所得税源泉徴収分への支援

投資インセンティブ証明書範囲で促進された雇用を支払わなければならない所得税の源泉徴収分の、最低賃金に相当する部分は取り消されます。第6地域のみ、行われる投資に対して発行されるインセンティブ証明書は、最長10年間を前提とします。

投資インセンティブ

1. 一般的インセンティブの適用

イスタンブルにおける一般インセンティブを利用したい投資家が、満たさなければならない主に2つの事柄があります。最初に、投資内容が、内閣決定のアネックス4にある「奨励されない投資内容」に入っていないこと、あるいは「特定の条件による奨励」に関する必要条件を満たしていること。二つ目には、100万TLの最低固定投資額を満たしていることです。



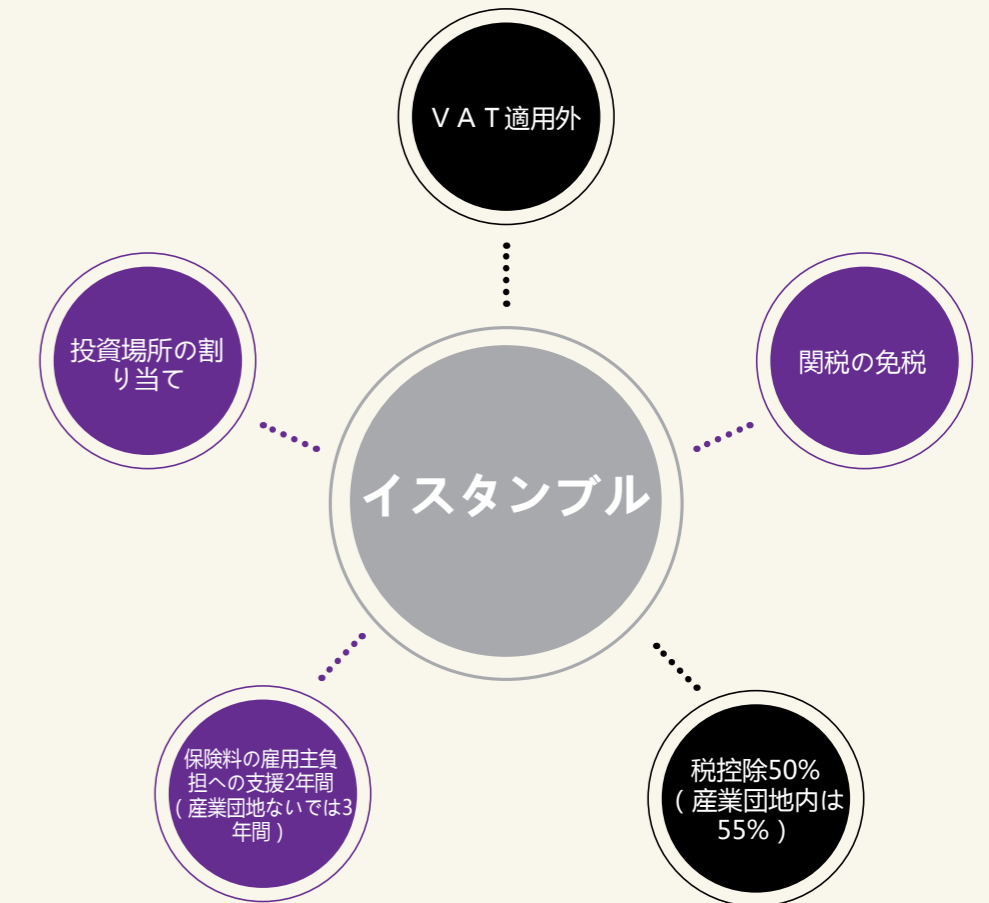
投資家は一般インセンティブの適用範囲において、投資インセンティブ証明書取得申請を、経済省の他、地方行政の管轄部署として、イスタンブル開発機構とイスタンブル工業会議所にも提出できます。100万TL-1000万TLの間の投資は、イスタンブル開発機構とイスタンブル工業会議所に申請できます。



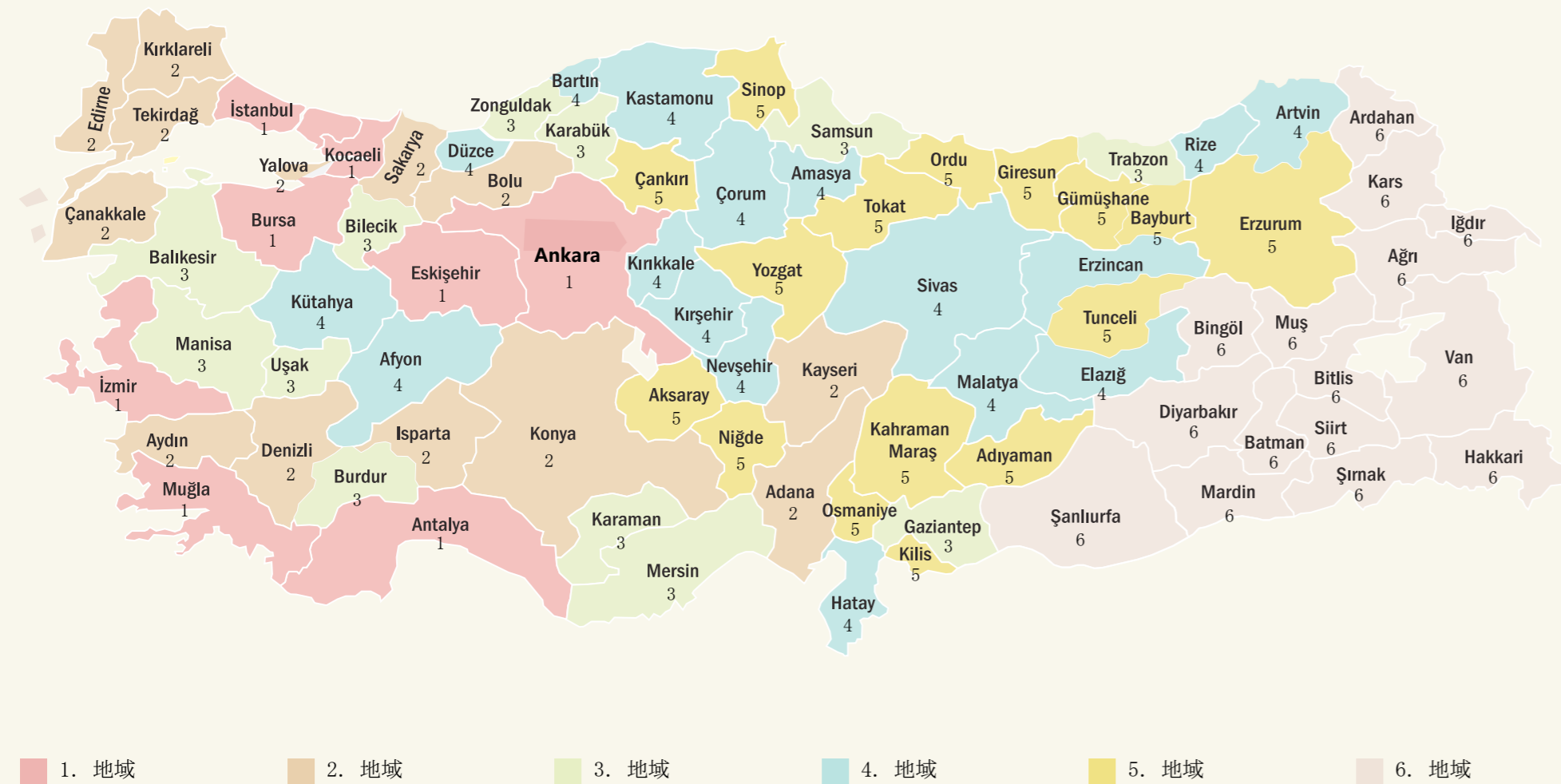
2. 地域的インセンシヴの適用

地域的インセンシヴの適用において支援される分野は、各県のポテンシャルと経済規模を考慮して確定され、各県の発展度によりインセンシヴ手段による支援の集中度も変わってきます。この枠内で各県に合わせた投資内容、支援率、最低投資額及び/あるいはキャパシティーが定められました。

新たなインセンシヴ制度によって、81県は6地域に分けられ、評価されました。イスタンブルは発展度から見てトルコで最も発展した地域であるので、第1地域の支援を利用できます。



投資インセンティブ



地域的インセンティブが適用されるイスタンブールにおける分野は、下記のリストの通りです。

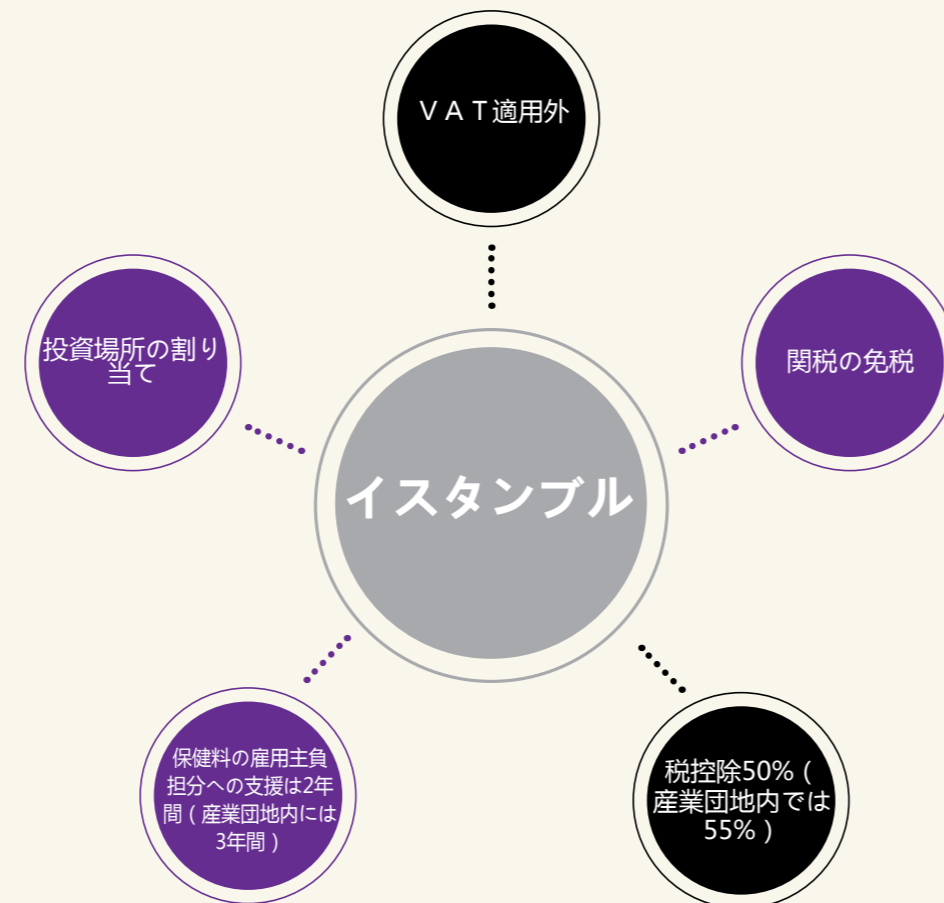
分野のUS97コード	イスタンブールで支援を受けられる地域的インセンティブ分野	最低投資額/キャパシティ
1911	皮なめし、加工（イスタンブール皮革専門産業団地とトゥズラ産業団地に行われる投資のみ）	100万TL
2423	薬品/製薬業、医療に使われる化学及び植物由来製品製造	100万TL
2929	工業用モールド	400万TL
30	事務所、経理、情報処理機器の製造	100万TL
32	ラジオ、テレビ、通信機器の製造	100万TL
33	医療器具、精密、光学器具の製造	100万TL
5510.3.01	学生寮	学生100人
80 (809 以外)	教育サービス（就学前教育を含む、成人教育、その他の教育活動以外）	100万TL
8511.0.01-05	病院投資、老人ホーム	病院100万TL 老人ホーム100人
8511.0.99		
8531.0.01-03		
	廃棄物再利用、廃棄施設	100万TL

投資インセンティブ



3. 大規模投資インセンティブ

このインセンティブ適用の主な目的は、地域のぎじゅつやR&D能力を向上させ、グローバルな意味での競争力を得ることです。定められた最低投資額を満たした投資は、イスタンブールの大規模投資インセンティブの適用範囲内で支援を受けることができます。



#	投資内容	最低固定投資額
1	精製石油製品の製造	10億TL
2	化学製品の製造	2億TL
3	港湾、港湾サービス投資	
4	原動機付陸路輸送車両製造投資	2億TL
4.a	a) 原動機付陸路輸送車両主産業投資	
4.b	b) 原動機付陸路輸送車両補助産業投資	5000万TL
5	鉄道とトラムの機関車、及び/あるいは車両製造業投資	5000万TL
6	輸送パイプラインでの輸送サービス投資	
7	電子産業投資	
8	医療器具、精密光学器具製造業投資	
9	薬品製造業投資	
10	航空宇宙輸送機及び/あるいは部品製造業投資	
11	機械（電気機械、装置を含む）製造業投資	
12	金属物製造に対する投資（鉱物法に定められているIV/cグループの鉱物の鉱石及び、あるいは濃縮物から最終金属生産に対する投資（この施設に統合された鉱物業投資を含む）	

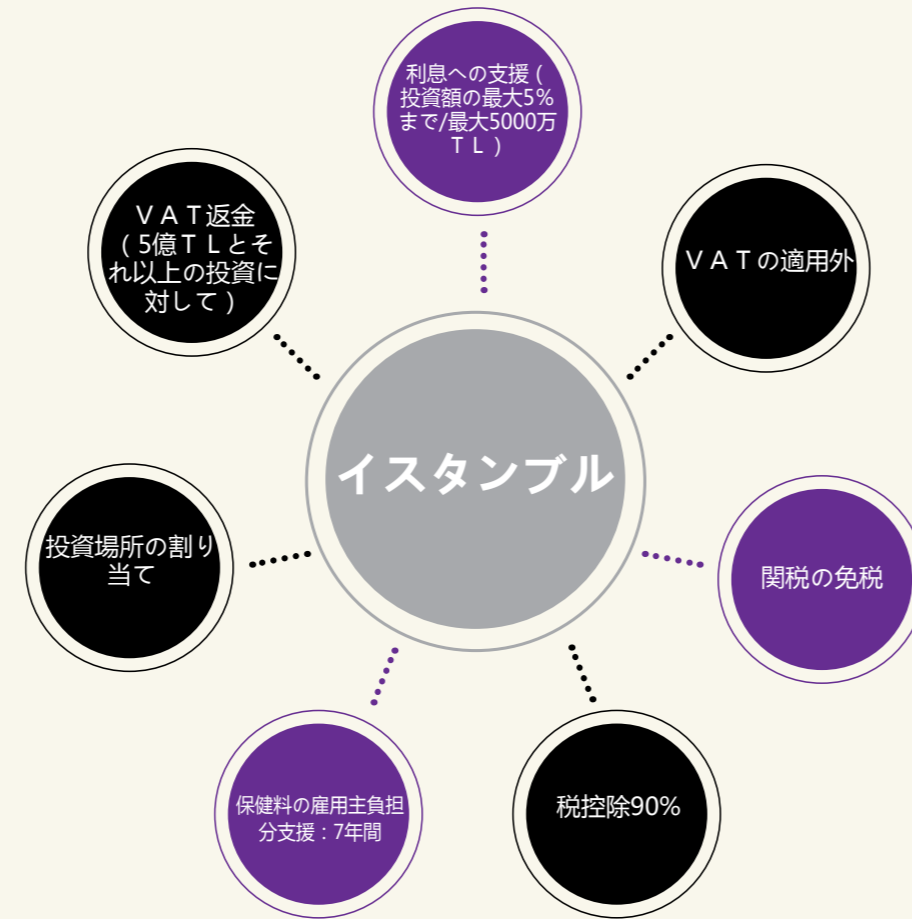
投資インセンティブ



4. 戦略的投資インセンティブ

戦略的投資インセンティブの適用範囲において、トルコの国際的競争力を強化する潜在性を有する、先進技術や高い付加価値の投資を増加させ、経常勘定の削減に関する輸入依存が高い中間材料や製品の生産に対する投資を支援することを目的としています。

次のページの基準を満たす投資は、戦略的投資インセンティブの枠内で検討されます。



戦略的投資インセンティブ利用の基準

最低固定投資合計が5千万TLであること。

投資内容の製品に関する屋内合計生産キャパシティが、輸入以下であること。

投資による最低付加価値の40%であること

投資内容の製品に関して、合計輸入額が最近1年間で少なくとも5千万ドルであること。



イスタンブル開発機構

Havaalani Kavşagi EGS Business Park Blokları
B2 Blok Kat:16 34149 Yesilkoy, Bakirkoy / ISTANBUL / TURKEY
T +90 212 468 3400 F +90 212 468 3444
www.istka.org.tr - invest@istka.org.tr

